

日本大学 桜樹会会報

第 23 号

平成元年 5 月

日本大学 桜樹会

目 次

みんなで地球を差し上げようー逆立ち万歳ー……………顧問	濱田 靖一……………	1
バルセロナ・オリンピックへの展望……………顧問	門脇 春男……………	3
あの日、あの時……………顧問	遠藤 幸雄……………	4
桜樹会新顧問紹介……………会長	稲橋 恒行……………	5
全日本インカレを目指して……………4回卒	早田 卓次……………	6
今、学生たちに望むこと……………4回卒	木村 多喜……………	6
雑感……………5回卒	小栗 郁郎……………	7
期待のトンネル効果は？……………5回卒	中島 元……………	8
日本スポーツ界への提言……………9回卒	今村 悟……………	9
昭和63年度桜樹親睦会報告……………インターハイ…8回卒	小柴 守夫……………	14
社会人大会……………8回卒	小柴 守夫……………	15
全日本選手権…21回卒	遠藤 孝之……………	15
昭和63年度総会報告……………7回卒	海谷美代子……………	17
男子アジア地区第Ⅶ期国際審判員認定試験報告……………25回卒	遠藤 幸一……………	27
平成元年度桜樹会・体操部行事予定……………		28
平成元年度体操部役員及び部員……………		29
試合会場案内……………		31
昭和63年度競技会成績……………		41
深呼吸……………9回卒	今村 悟……………	69
編集後記……………		70

みんなで地球を差し上げよう

—逆立ち万歳—

顧問 濱田 靖 一

もう五、六年も前の話になるが、ある健康雑誌に『逆立ち健康法』というテーマで拙文を載せたら意外と反響があった。読者から電話があったり、週刊誌から同様な原稿の依頼があったり、テレビでしゃべらされたりもして、現代人の健康志向の熾烈さに驚いたことがある。

そこでいっそ『逆立ち健康法』という単行本でも書いてやれと思って筆をとることにした。

ところがドッコイ一向に筆が動かないのである。簡単に書けそうで書けないのである。今でもそのままである。

しかし頭の中では『サカダチ、サカダチ』という言葉がいつも往復しているので、あまり関係ないようなものでも逆立ちと名のつくものはすぐ眼の中にとびこんでくる。

昭和63年2月23日の新聞記事である。

—職員に逆立ち、徹夜残業、町長に退陣を要求—とある。山梨県北巨摩郡双葉町の土橋喜弘という町長さんのことである。記事によると「夜明けまで残業させたり、逆立ちを強制させたりすることがしばしば」とあるからおそらく、逆立ちは健康法としてでなく体罰としてやらせたのであろう。逆立ちの方法もいろいろあるから、どんな形の逆立ちをやらせたのだろうか？ 女子の職員にもやらせたのだろうか？ と、余計なことまで心配になってくる。筆者の想像であるが、この土橋町長

は高校か大学の時の体操選手で逆立ちが得意だったに違いない。

23日の午前、大沢軍治町議会議長から退陣を要求されたとある。その後どうなったか注意してみたが新聞に載っていない。

町議会の席上で町長自ら逆立ちして「逆立ちの効用」でも一席ぶてば、逆立ち町長の好意として一見落着ということになったろうと思うのだがどんなものだろう。とにかく今、毎日のように新聞やテレビで騒いでいるリクルート問題より素朴で楽しい話題である。

やはり新聞記事でこんなものもあった。

—切り花、逆さづりで長持ち—

これは茨城県筑波研究学園都市にある農水省産業生物資源研究所の漆崎末夫主任研究官の妙案である。

漆崎さんはカーネーションの花を上にしたもの、水平にしたもの、逆さづりにしたものの三姿勢で、水分蒸散とエチレン生成、呼吸などについて五分間隔で長時間測定した。その結果、24時間後には逆さづりの水分蒸散が垂直の三分の一、二日目からはエチレンの出方に差が現れ、三日後には逆さづりのエチレン濃度が垂直の半分となり、垂直では三日でしぼむ花が、逆さづりだと六日間はもつということがわかった。逆さづりは体操用語では逆懸垂である。しおれかけた人間もしぼん

だ人間も皆逆さづりをやんなさい、長持ちすること間違いなしとは漆崎さんは言っていないが、逆立ちが健康によいことは医学者が口をそろえて推賞しているからこの点人間も植物と同じわけだ。

本屋をひやかしていたらこんな本が眼についた。『さかさまの世界』バーバラ・A・バブコック編、岩崎宗治・井上兼行訳とあり表紙の帯に<さかさま世界>は、日常生活の限定性を補充し、世界を宇宙論的位相のもとに読み解く！と大層難しいことが書いてあったが読んでみた。

要するに人間は日常的な秩序や規範の中での常識的行為を納得しながらも一方、心の何処かで地位の転倒や逆転現象を望む欲求をもっているのだ、その淵源は遠く古代ギリシャの民衆文化にまで遡ることが出来る。しかしそれは規範に従って生きている人間の態度を嘲笑するだけではなく、むしろ我々の生に活力を与えたり貴重な『遊びの空間』を教え、文化の活性化を可能にするものであるというのである。

いわば心の逆立ちは沈滞した近代社会に元気を与える役目をするとして解釈出来そうである。

違った本屋でもう一つ見つけた。『ブリューゲル・さかさまの世界』カシュ・ヤーノシュ編、早稲田みか訳、である。これは有名なピーター・ブリューゲルの絵の解説書である。

ピーター・ブリューゲルはルネッサンス期の北欧の巨匠である。ブリューゲルは美の故郷といわれるイタリアのフィレンツェでレオナルドやラファエルロ、ミケランジェロのような天才が華麗な活躍をしていた頃、ネーデルランド（低地国という意味で今のオランダあたり）でお化け、百姓の生活、子供の遊び、諺（ことわざ）などを素材

な独特な画風で描いていた。

この『さかさまの世界』の内容は主としてブリューゲルの諺の世界をとりあげたものである。

当時の西ヨーロッパは中世からの転換期で、貧富の差がはげしく、民衆は教会の権威に圧迫され、不条理な宗教裁判などに不平や不満をもつことが多かった。中世末期の諺の流行もこうした世相の反映ともみられる。諺には煩瑣な論証は不用である。手短な文句のうちに、機知鋭く現実の世相をえぐり出すのが特長である。ブリューゲルはそれを絵にしたのである。『ネーデルランドのことわざ』という絵の中には、ねずみが猫を追いかけたり、うさぎが狐師を追いかけ、召使が馬にのり王様が歩いているし、こじきが金持ちにほどこしをしている。まさに「さかさまの世界」である。それはユーモラスでもあり、またアイロニカルな含蓄によって、不条理な現世に生きる人々に、笑いや慰めやあきらめを与える効能があったわけである。リクルートの新聞記事を読みながらいつの世の中でも心の逆立ちは必要なのであらうと思う。床運動や平行棒、平均台、リングの倒立が、精神的な「さかさまの世界」を生み出すかどうか、それはブリューゲルにでも聞いてみなければわからないけれど……（おわり）



バルセロナ・オリンピックへの展望

顧問 門脇春男

昨年秋第24回オリンピック大会が韓国のソウルで初期の目的を十分に果して終了した。政治的に対立している東西両陣営各国の参加、朝鮮半島の民族統一への足がかり、ホスト国として金12、銀10、銅11のメダルを獲得し国民に大きな感動を与えた。そして、財政的にもロス五輪の2倍にもおよぶ660億円（4億9700万ドル）の黒字であったことなど、このオリンピックの成功は、あらゆる方面におよぼした数々の相乗的效果は計り知れないものがあった。

本来、国際的な行事というものは、政治的、経済的、文化的、宗教的な係り合いを大いにもっており、だからこそそれに参画した人や国がベストをつくしてその意義に応えるべく努力するのである。そこには、愛が生まれ、平和が訪れるのである。

さて、過去における日本とオリンピックの歴史は1912年第5回オリンピック・ストックホルム大会に始まるが、わが体操部との出会いは1960年ローマ大会以降である。（注 桜樹会報22号参照）以後日本体操界の中樞をなし、常に好成績をあげ国民の期待に応え数多くのメダルを獲得している。また、私達が普段練習に利用している体操場は1964年に新設され、オリンピックの練習会場として利用されて各国の関係者から大いによこばれ今日に至っている。

この間約30年、わが体操部はインカレ優勝男子

8回（昭和48、49、50、52、54、61、62、63年）女子1回（昭和41年）を数え、それぞれのオリンピックに数多くの選手を参加できたことを大いに誇りに思っている。

体操部はOBも現役も本当に体操が好きで集った同志の関係にあり、その連帯感是他大学の追従を許さず羨望的になっている。

閑話休題

さて、本題にもどるが、あと3年後に迫った第25回オリンピック大会はスペインのバルセロナ（Barcelona）で開催されるが、スペイン第二の都市で、地中海に面し、12～15世紀カタルーニア王国の首都として発展、特に1492年イザベル女王の援助のもとにコロンブスのアメリカ大陸発見から500年目にあたる記念すべき港、アメリカ大陸への航路出発港として世界的に有名である。現IOC会長アントニオ・サマランチの出身地でもある。

現在の体操部の勢いからすれば数多くの役員・選手を出すことが可能である。それだけにオリンピックへの関心は高まるであろう。常に世界の情報を得ること、それを分析すること、対応する努力を惜しまなければわれわれの仲間が日の丸をあげてくれるであろう。

（1. 4. 14）

あの日、あの時

顧問 遠藤幸雄

中学2年から始め、31歳で選手生活を終える間、最も精神的に追いつめられたのは、東京オリンピック大会（1964）の種目別だった。

種目別は個人総合チャンピオンのタイトルを背負い、「あん馬」を除く5種目に出場の権利を与えられていた。最初の「ゆか」は銀メダル、しかし、続く「つり輪」と「跳馬」は、着地の大失敗によりメダルどころでなかった。

競技会場から逃避したい心境に支配されたのは、次の「平行棒」を待つ間である。理由は個人総合チャンピオン、すなわち、チャンピオンとして種目別で1個も金メダルを獲得できない場合の不名誉さを考えたからである。

しかも、持ち点トップの「平行棒」は正に最後のチャンスであり、それだけに不安を大きくしていた。

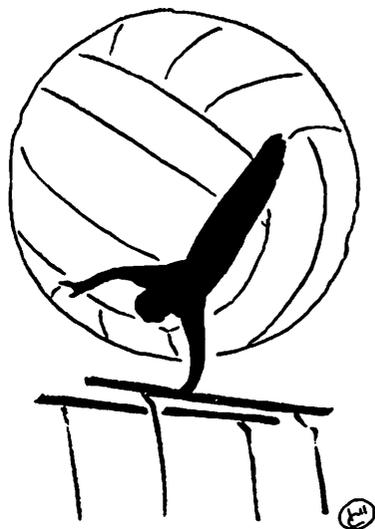
不安からの脱出は、それまでの経験ではなく、観衆のラジオを通して知った日本の女子バレーの金メダル獲得に対する歓声と拍手だった。表彰台上にて涙したのは唯一この時で、分析が可能なら感謝の字が検出されたはずである。

身体管理には神経を使っていたので、怪我は少ない方だった。それでも肉体的に恵まれなかった年（1966）がある。オリンピック・チャンピオンとして臨んだ世界選手権大会（ドルトムント）は右肘の故障に泣かされ、帰国後は突き指もした。

全日本選手権大会をひかえ、あせる心も加わっていたある日、鉄棒から落下、腰部を強打し病院に運ばれた。入院は5日間、3日間は真っ直に歩行できない状態だった。

選手生活の継続を危ぶむドクターの意見に抵抗を感じながら退院し、メキシコオリンピック大会（1968）に的を絞って始動するまで時間を要さなかった。メキシコへの参加は、日本選手団の旗手を務めたことでも思い出深く、「苦あれば楽あり」を実証したといえる。

1989年3月6日付「東京新聞〈夕刊〉」掲載





桜樹会新顧問の紹介

会長 稲橋 恒行

今回は桜樹会名誉顧問の勢能一男さんをお訪ねし、いろいろとお話を伺いました。

体操関係者でセノー株式会社の名前を知らない人はいないほど、「セノー」ブランドはその品質の高さで知られています。勢能さんはその社長であり、日本大学26年卒業のOBでもあります。

セノー株式会社は明治41年4月、勢能さんの父、力蔵氏によってつくられた個人商店に端を発しています。つまり力蔵氏は郷里の鳥取県甲瀬町で「勢能商店」を開き、小学校の学校教材としてとび箱やマットといった体操器具をつくり、販売を始めたのがセノーのスタートなわけです。大正時代には、すでに東京に営業所を設けていたが、関東大震災によって再び力蔵氏は鳥取に戻り、その翌年、つまり大正13年9月に勢能さんは誕生されました。一男というお名前ですが男4人、女3人の末っ子だそうです。「鳥取での記憶は全くありませんね」と語られているように、物心つかないうちに力蔵氏は再び東京へ進出。そして昭和10年には資本金18万円で勢能体育工業株式会社を正式にスタートさせ、本格的に会社組織として出発しました。

世の中全体が戦時色につつまれていた昭和17年の春、勢能さんは父の仕事を手伝うべく、勢能体育工業に入社しました。すでに3人の兄も父の仕事を手伝っていたそうです。昭和19年に千葉県佐倉にあった近衛57連隊に入隊しますが、戦地へ行

かせたくなかった力蔵氏のすすめにより、陸軍経理学校を志願し合格します。経理学校といえどエリート校で通っているところですが「応募者が少なかつたので、私のような者でも受かたのでしよう」とご本人は謙遜されています。

一方、戦時色が深まると製品にも軍事色が出てき、海軍の指定工場となり、軍事教練用の教材の製造も始め、土浦航空隊や三重航空隊にも納品したそうです。その後、軍の疎開命令により、福島県の二本松に工場を移し、農機具も生産したというから驚きます。

昭和21年、特別措置法によって勢能体育工業は解散させられ、新たに勢能体育用品株式会社が発足し、目黒の碑文谷に工場を建設し、本格的に体育、体操用品の製造を開始しました。すでに力蔵氏は社長の座を長兄の久男氏にゆずり、第一線を退いていました。その後、昭和25年に末弟ながら勢能さんが社長になられました。陸軍経理学校出身という経歴が物語るように、数字に強い、経理に詳しいという能力が買われてのことでしょう。

昭和39年の東京オリンピック。体操競技の施設器具を独占受注し、さらに他の全種目にも何らかの製品が採用されたそうです。

昭和49年に現在のセノー株式会社と改称してからの活躍は皆さんご存じの通りですが、年商120億円のうち、体操関係以外の製品売上の占める割合が何と88%もあるそうで大変驚きました。

全日本インカレを目指して

4回卒 早田 卓次

エース梶山広司（現男子コーチ）が、日大のチームの一員として活躍した昭和48年、49年、50年の団体3連勝から久しく遠ざかっていた連勝記録が、このたび、昭和61年から再び、前回の3連勝とタイ記録に持ち込むことが出来た。

昭和61年には、オリンピック選手にまで成長した水島宏一（現大学院2年生）が個人総合獲得、団体は、日体大と接戦のすえ7年振りの王座獲得であった。翌62年は、最終種目の鉄棒では落下に次ぐ落下で選手はもちろんすべての日大関係応援団は一瞬生きたこちがしなかったが、選手が良く踏んばり2連勝を達成することが出来た。

3連勝の昨年（63年）は、水島の抜けた穴は大きい若手の佐藤寿治（ソウルオリンピック代表）、田村真（現主将）らがその不足を補い、なおかつ、1年生の松永政行が初日の規定演技で日大の戦力として大いに気をはいた。

これまでの3連勝を振り返ると、4年生の活躍はもちろんであるが、3年生、2年生に混じり1年生選手のチーム貢献が目立っている。

体操選手としての能力は身につけているが、入学して間もない4ヶ月足らずでオリンピックの規定演技をマスターし、先輩共を相手に十分に戦う1年生選手が頼もしく見えてしょうがない。もちろん短期決戦を見込み、いち早く有望新人に目を付けて勝負させる梶山コーチの苦労はなみ大抵で

はない。

今年は、日本大学創立100周年を迎えて記念すべき年であり、体操部は、4連勝をかけた重大な平成元年を迎えている。

前述のように1年生選手の活躍がカギとも言える学生選手権には、今年も大型有望新人が多数日大体操部を夢みて入部してきた。男子はソウルオリンピック代表の西川大輔、夫婦揃って体操部OBの二世、林克彦ら8名、女子4名が新しく日本大学体操部員として登録され、男子は昭和36年以来伝統の坊主頭で日夜励んでいる。

この新入部員の中からも、昨年、一昨年のようにレギュラーとして活躍する選手が発掘出来ると確信している。平成元年も桜樹会の皆様の御声援を得て全日本インカレのタイトルを死守したい。

1989. 4.15 記

今、学生たちに望むこと

4回卒 木村 多喜

私は相変わらず我が子といっても過言でない体操部員や、学生コーチ等に支えられ、毎日を送っておりますが、十人十色という諺のように個性豊かな変化に富んだ24名の女子部員をかかえ、毎日悪戦苦闘の状態であります。

皆さんも学生時代のことを思い出して下さい。体育館に入るやいなや「あらっ太ったわね」「かっこよくなったわね」の嫌味たっぷりに聞えるひと言、ふた言……しかし歳と共にこの言葉も

少なくなってきました。それは、良くいえば自己管理が上手になってきたこと、悪くいえば、馬の耳に念仏（気にしてはいるが……）というような時代です。

さて、現部に望むことを、体重に関すること、合宿所生活に関すること、体操に関することの3つの面に分けて触れてみたいと思います。

体重に関しては、自覚の二文字と我慢、そして健康管理に尽きると思います。

自分の選手時代と全く異ってきている競技内容を考えると、健康管理はもちろんのことたえずベストの体重を維持し、一定の練習量に耐え得る食事をし、栄養を摂ることに心掛けて欲しいと思います。特に減量に気をつけている人は、夕食はほどほど、そして間食はやめなさい、ということです。自分の経験上これだけは自信をもっていえます。

合宿所生活に関しては、合宿所での生活や部生活を通しての規則を守り、体育館では思う存分練習に励み、疲れた身体は合宿所で休息をとり、やすらぎの場としてお互いに楽しく過せる場にしてほしい。また日常生活に必要なことがらを学び、あるいは人と人とのつながりを大切にすることによって、友情と信頼が生まれ、楽しい合宿所生活が送れるよう心掛けることが大切だと思います。

体操に関しては、大学生は現在むずかしい立場にあるが、インカレがある限り、学生日本一を目指して、ひとつ、ひとつの試合を大切に自分の力を最大限発揮できるよう努力してほしいと願っています。

最後に、これまで以上桜樹会のご協力、ご厚情をお願いします。

雑 感

五回卒 小 栗 郁 郎

現在も顧問をしている日大豊山中学・高校に勤務したのは、昭和38年4月、大学4年生の時でした。非常勤講師として、週2日9時間の授業を担当しました。当時の時給は160円。そのほかに交通費の実費、部活動の指導費1カ月2,000円が出ました。学校長・副校長との面接の結果、学生教員として生徒指導の第一歩が始まったのです。

当時の生徒数は1学年1000名を越える男子生徒ばかりの大集団でした。(中学800名、高校3000名)。1クラス65名、全員坊主頭でしたのでとても印象に残っています。

学校は緑多い護国寺のふところに囲まれた場所にありましたが、校庭は狭い上に、校舎建設のため、猫の額ほどの校庭は資材置場に使われていたので、授業はもっぱらマラソンでした。屋上、護国寺の境内、雑司ヶ谷基地の通路が我々の校庭であったわけです。

クラブ活動は水泳部が有名で、38年の夏に2回目の優勝を達成し、その記念の室内温水プール(東京オリンピック近代5種の水泳練習場になった)を建設するほどでした。他のクラブも盛んですが、全国レベルには達していませんでした。そんなクラブの中の体操部をコーチとして引き受けることとなり、昭和39年3月、文理学部体育学科を卒業すると同時に専任講師として本採用され、本格的な教員生活に入っていったわけです。

当時の体操部の練習は4階の建物の屋上にあん馬・つり輪・平行棒・鉄棒の器械を設置して行ないました。ただしそれぞれの器械は国宝品ばかり。特にあん馬は手製で、本体は木材で作り、馬体は布張り、ポメルは鉄工場で鉄のパイプを曲げてもらいつけるといったその辺ではちょっと見られない代物でした。また、マット運動も屋上で実施したり、鉄棒からの車輪宙返りなど、天を飛んでいるような気分を味わえる環境でした。しかしそれでも部員の士気はすこぶる高いものでした。

雨の日は重い手製のあん馬を4階の廊下におろし旋回の練習をし、またウエイトトレーニング用具も手づくりで（バケツにセメントをいれ鉄の棒を通したバーベルなどろくなものではありませんが）いろいろ考え出して活動したものです。そんな中からインターハイや国体代表選手もぼちぼち出始めるようになりました。

新しい体育館も完成し、器具も揃い、クラブ活動もコーチから顧問にかわり、心新たな気持ちで指導に当たることとなりました。

私の心情としては、ただ強い選手を育て上げることだけが目的ではありませんでした。中学・高校合同クラブなので6年という年齢差があります。その中で兄と慕い、弟と呼べるような、また、学業とクラブとの両立など、大変厳しい中にも、楽しく、温かい心が育つようなクラブにしたいと常々思っていたのです。こうした私の心情に応えてくれるような生徒たちがどんどん成長し、巣立っていってくれました。

教員になった者、体操クラブを営んでいる者、家業を継いでいる者、接骨院、手技療院、カイロプラス療法などの院長として社会に貢献して

いる者など、OB会は益々盛んであります。そんな教え子たちから結婚の仲人を依頼され、10組の媒酌人をさせてもらい、その夫婦が父母となり、私の家に子供連れて訪ねてくれる喜びを、他の誰よりも多く感じている今日この頃です。

クラブの送別会には、いつも、堀田先輩の友人の小室等さんが作詞・作曲し、堀田先輩がギターやウクレレ片手に教えてくれた“体操部の歌”を送別の贈物として今でも歌っています。教員になって幸せな私であったと実感している25年間の教員生活です。

期待のトンネル効果は？

5回卒 中島 元

世界一のウルトラ青函トンネルが開業して1年になります。長さ53.85km（海底部23.3km）で海面下240mを100km前後で走ることは信じられませんでした。「上野発の夜行列車降りた時から、青森駅は……、北へ帰る人の群れは……連絡船に乗り……ああ、津軽海峡……」と歌にも懐かしい本州と北海道は青函連絡船で結ばれていたのです。函館発の海峡号列車で青森の声を聞いたときは、本当に列車で海の下を来たのかと疑いました。

私が勤めた昭和39年の木古内高校は函館から1時間以上かかる海峡に面した町でしたが道外はもちろん道内でも知らない人が多く、昭和40年代の全国遠征の時、「もっこない」「きこうち」「かれない」高校と言われました。

この年は東京オリンピックの年、世界の目が東京にありました。また、この年には青函トンネルが本州と北海道側から同時に掘り始め、20年間以上も日本のトンネル技術の経験と最新技術を駆使して掘り続け、昭和60年の貫通と同時に函館に転動でしたが、昭和63年3月夢のような津軽海峡線160.4kmが営業したのです。盛岡まで約6時間が3時間半となり、札幌への4時間より早くなり、今年の本州方面への練習会や合宿などに出かける高校も多くなるようで、人々の流れにも徐々に変化がみられます。

ウルトラの技で競い合ったソウルオリンピックは日大関係者、桜樹会関係者と生徒のアイドルになった高校生コンビの大活躍に感激と興奮での観戦でした。生徒も技の名前をよく知っていて、鉄棒の授業中も技の名前が話題になったのですが、テレビ観戦だけの話題で、直接みる機会がなく残念に思いながら、「よし、車輪だけでも……」と外の鉄棒ではりきって車輪を回るまでは良かったのですが、下り技に失敗して……。びっくりしている生徒の前では平気を装っていましたが後でこっそり足をさすっている自分を何と言ったらよいか。

こんな私の指導する生徒には、1つの技を完成させ、檜舞台で見事な技を披露するまでの選手の厳しい過程を知ってほしいと思うのですが、生徒にとって前方支持回転もけ上がりも最高の技であり、3年間でやっと出来た喜びに拍手を送って練習の大切さを教えています。

3月下旬にトレーニング施設、機器の設置状況を岩手、青森の高校に視察し、多くの学校で最新の機器を導入して体育振興、体力増進を図っている事実に感銘を受け、学校体育施設・設備の設置

について考えさせられたのもトンネルのおかげと感謝しています。

現在道内には、札幌を中心に11名の桜樹会員が広い地域で頑張っています。一同に会する機会がないのが残念ですが、今年は北海道国体が9月に海の幸豊富な小樽であります。昭和62年のインターハイを思い出します。

全国の桜樹会の皆さん！ ウルトラトンネルでは是非おいで頂き、スポーツ談義にひと時をお過ごしくださいませこの上ない感激です。

日本スポーツ界への提言

9回卒 今村 悟

第24回オリンピック・ソウル大会は、12年ぶりに東西両陣営が参加するという史上最大規模の大会となった。日本も大選手団を派遣したが、金メダル4個と惨敗に終わる結果であった。

日本スポーツ界関係者は、政府の競技スポーツへの援助、国立スポーツ科学センターの設立等、勝つためのスポーツを論じているようである。しかし、今年の家計予算をみると、計画段階の予算しか確保できない状況では、次のバルセロナ・オリンピックまでに国立スポーツ科学センターの建設がどの程度進行しているか非常に疑問である。

私は日本スポーツ界の抜本的な解決策のために次のような提言をする次第である。

- 1 スポーツ振興財団をつくる
- 2 組織・指導体制の改革

3 施設整備と管理方法の再検討

4 指導者・選手の発想の転換

以上4項目を柱とする改革が必要と考えられる。

1 スポーツ振興財団をつくる

この団体は日本体育協会の援助団体で、独立した法人として金を集める目的として発足する。

西ドイツスポーツ援助財団(Deutsche Sporthilfe=DSH)を模範として活動する。

お金を集める方法は、各企業、団体、個人の寄付を主とし、その他チャリティー等イベントを企画したり、郵政省の切手、葉書を上乘せして販売する。

これらの集めた財源を

- a) 研修、合宿、リハビリテーション等の宿泊施設を備えた、競技団体専用の施設を各ブロックに建設する。
- b) スポーツ科学研究所を各ブロックに建設する。
- c) 選手、コーチに金銭的援助を行う。

- ① 選手を試合の成績、実績でランクに別ける。
- ② ナショナルコーチ制度を採用し、トレーナー、振り付け師(コエオグラフィカー)、ピアニスト、医師、心理学者、マッサージ師等を専属として給料を払う。
- ③ オリンピック、世界選手権等の大会には、選手の所属コーチも参加できるようにする。

以上の提案は非常に理想に近いと思われるが、少しでも実行できるようすべきであり、国のより一層の支援を期待し、振興財団の設立を早急に望むものである。そしてそれと並行して次のことを大学に提案する。

総合大学に、医学、心理学、体育学を中心とした「大学スポーツ科学研究所」の設置を希望する。

現実の日本のスポーツ医学はアメリカ、ヨーロッパに比べ見劣りするし、スポーツ心理でも同じことが言える。1984年のロスアンゼルス・オリンピックでのアメリカの勝利は、スプリングスフィールドのスポーツ科学研究所の役割が非常に大きく、特にスポーツ心理におけるイメージトレーニングは非常に効果があった。日本もこのイメージトレーニングをソウル・オリンピックにおいて、競技団体は少しずつ取り入れて強化を行ったが、その成果についての報告を待ちたい。

しかしこれはナショナルチームの選手を主体としているので、ジュニアや大学生に対しての対策が必要である。将来のことを考えた場合、ジュニア層からのスポーツ医学、スポーツ心理学のチェックが絶対的に必要である。しかしながら、現実問題として、人数、費用、組織の面において不可能である。

そこで、総合大学の利点を生かし、医学、心理、体育の横の繋がりをはかり、大学内にスポーツ科学研究所を設置して、競技選手の医学的、心理的、体力的チェックをおこない、データをコンピューターに入れるべきである。

今日、日本の大学の競技力低下がいわれて久しい。競技種目によっては、高校の優秀な選手は企業チームに入るケースが非常に多い。これは大学に魅力がないと言っているものであり、これから益々高校生が減少していくことを考えると、魅力ある大学の目玉として非常に有効と思う。

医者、心理学者、体育教員、監督、コーチ、大学側が一つのテーブルにつき、プロジェクトチー

ムを編成して少しでも早く作動してもらいたいと思う次第である。

2 組織と指導体制の改革

a) 各競技団体と体協の組織の再編制と専従職員の増員

日本体育協会は3年後をメドにスポーツ界の再編制にとりかかるが、このことは非常に良いことであり、保守的な体協を活性化する意味で期待したい。JOCの法人化により、選手強化はJOCが受け持ち、体協は国民スポーツの振興にあたる。これにより、ゲートボール等の団体や、プロスポーツもすべてこの新体協のなかに一本化される。

しかし、問題も多く抱えている。プロスポーツとの同居を、保守的な旧体質の人達を説得できるか。また逆のこともいえる。しかしながら時間をかけても是非実現してもらいたい。

次に専従職員の増員について述べたい。

競技団体の専従職員が非常に少ない状態である。特に地方において顕著であり、都道府県の理事長が封筒の宛名書きや、試合や合宿における旅費の計算と支給に追われている状況である。これでは意欲的な仕事は無理であり、当然あまり引き受ける人がなく、しかたなく順番で役職を引き受けているのが実情である。

西ドイツを例にすると、市町村、郡、州のスポーツ連盟には専従の職員がいるが、もちろん各競技団体は郡、州レベルから専従職員をもち、試合、合宿、会議等の行事には必ず出席して事務的問題は処理する。

日本でなんらかの役職について、ボランティア

としてスポーツを支えている人達に対し敬意を表するとともに、競技団体専従職員を、せめて都道府県に配置すべきである。(登録数の少ない団体は兼務する)

b) 試合の参加人数と枠を広げる

競技人口は世界で上位にランクされると思うが、実際に試合に出場する選手は残念ながら非常に限られているのが日本の実情である。

それは各団体一チームを原則としていることが大きな要因と思える。もし団体が二・三チーム出場できるだけの部員を抱えていたら、試合に参加できるようにすべきである。そのことにより部員のやる気を高揚し、選手の素質発掘に繋がり、個性ある選手をより多く育成するものと確信する。

ある大学の部(球技)では、150名をこえる選手を抱えているが、一軍はせいぜい20~30名である。他の部員は一度も試合に出場することなく大学生活を終えてしまう。これらの選手にも出場の機会を与えることが、底辺の拡充のための必要条件と考える。

それは技術的に可能である。各団体の二軍・三軍チームが集まり、自主運営によりリーグ戦を組めばよい。大学は社会人チームとの混合リーグとしてより変化を持たせることも可能である。しかし最大の問題は施設の確保である。正規の施設を使用するとなると難しいし、金がかかり過ぎるので、学校や会社の施設を利用し、試合時間、ルール等を独自に決め、それぞれの自主運営方式とすればよい。

体操等の場合、公式の試合に二軍をオープン参加させて公式順位から外す。もし公式試合が不可

能な場合、三大学位で対抗戦形式をとり、練習している体育館で試合をすれば問題ない。

より多くの素質ある選手を発掘するためにも、できるだけ多くの出場枠を設けてもらいたい。

c) コーチ制度の確立

文部省の保健体育審議会により、指導者の資格について論議されているが、早急な実施を望みたい。競技力向上指導者については、各競技団体が専門分野の講習をすべきであり、安易な指導者養成は絶対避けるべきである。権威ある指導者資格を与えると同時に、その資格にみあった報酬も必要である。それは、コーチ制度の確立であり、あいまいな現在の慣習は絶対に廃止すべきである。

先生が休日も返上して指導している姿を当然と受けとめている風潮。いったん事故が発生すれば、指導者の責任とする判例。契約書もなく監督、コーチを引き受けている状況。先生、OB、OGの情熱だけで日本スポーツ界を支えてきた今までと違い、高度化、専門化してきた現代スポーツを、かたてまにできる状況でないことを当事者は早急に認識すべきである。

報酬をうけることによって、指導・責任を指導者に与えることは、より一層の研究心を生む。指導者に刺激を与えることが、選手にも好影響を導き出すことになる。

優秀な指導者を養成することが、優秀な選手の養成になる。

関係監督団体は、指導者と事業主の契約に関する法律を早急に提出して、契約について明文化すべきである。

3 各施設の整備と管理方法の再考

各スポーツ施設をみると非常に不備な点が目立つ。施設の数、面積についてはある程度満たしていると思えるが、付属施設整備の充実を提案したい。

a) 体育館や競技場の更衣室、シャワー室の充実
現存するシャワー室は温水がほとんどでないし、また管理不十分で使用不能が多い。破れたカーテン、かびが生えた壁等衛生上非常に問題がある。また体育館の清掃の管理面について、学校では学生、生徒が行うため、モップはごみだらけだったり、フロアの角には空き缶や埃がいっぱいである。教育的見地からみれば学生・生徒にやらせるのは良いが、衛生面からいえば問題であり、一週間に一度位は専門家による衛生チェックが必要である。

b) 器具庫の許容量不足

体育館の床面積は充分満たしているが、器具を入れる倉庫が非常にお粗末であり、学校の体育館では器具がフローアに出ている。

c) 体育館フロアの合理的利用

日本の体育館は床面積において充分であるが、非常に不合理なラインの引き方により、空きフロアが多い。これは公式試合を中心に考えられたと思うが、学校体育やクラブ練習用として、効率の良い利用を考え直すべきである。

もっと整備・管理面にお金をかけるべきである。

4 指導者・選手の発想の転換

多くの日本選手はなぜ試合に実力を発揮できないのだろうか。この問題について、次のようなことが原因と考えられる。

a) マンネリ化した練習により、練習での緊張感がない。そのため集中力が生まれず、試合での環境の変化に戸惑う。

b) 縦社会である日本の上下関係は、コーチと選手のコミュニケーション不足を生み、選手の自主制、意見等を威圧し、全てのことを全体より判断する。そのため、全体からはみでたものは全て敗者であり、常に全体について行こうとするため、個性ある選手、人材は仲々育たない。

優秀なコーチとは、常に選手に刺激を与えられることであり、優秀な選手とは、その刺激を吸収できることである。

まとめ

今回の論文において、将来の構想、すぐにでも改革しなければならないこと等、色々な角度から分析したつもりである。老化現象を起こしている今の日本のスポーツ界にとって、少しでも起爆剤になればと思い寄稿した次第である。

(この論文に対する意見、反論を是非およせ下さい)

昭和63年度桜樹親睦会報告

○印執筆者

全国高校総体（兵庫・西宮市）

期日 昭和63年8月1日

場所 料亭『山口』

大阪市西区土佐堀

幹事 ○小柴守夫（8回卒）

梶 信昭（12回卒）

寺元良人（16回卒）

平田芳和（18回卒）

“親睦会会費1万円”という案内ポスターを見て驚かれたことでしょう。

選手、監督の宿舎が大阪であるため、兵庫インターハイの親睦会を大阪で開催することにした。大阪ということで山憲商会社長、山田隆士君（11回卒）に会場探索を依頼した。

山田君からの手紙で会費・会場が決まった。しかし、型破りの会費に私を含めた幹事らは戸惑いをかくすことが出来なかった。1万円会費では会員が集まらないのではないか？他の大学は5～6千円ですよ、と幹事の一人である寺元良人君から言われ、案内ポスターに会費は書かずに掲示した。その間に、料亭『山口』に電話で2～3回交渉したが、「これが一番下の料理です。」という返事であった。もうどうにでもなれという気持ちで案内ポスターに会費を書き込んだ。会費を書き込む前から役員の間で話題になっていたが、会費を書き込むことによってその話題はさらに大きくふ

くれあがった。

こうして話題騒然のなか、親睦会は開催された。しかし、会場に行って納得、料理がでて再び納得。さすが山憲商会社長！超一流の会場を紹介してくれてありがとうございました。

また、今回、桜樹会の顧問になられた勢能一男先生が出席されました。

なお、親睦会残金（9万円）は、インカレ選手強化費として体操部に贈りました。

[出席者]

勢能一男（願） 稲橋恒行（1） 米田賢一（3） 早田卓次・木村多喜（4） 金子洋平（5） 刈込和男・二岡真美子（7） 大和孝三・小柴守夫・近藤盛一・林恵子・平野昌宏・船木政明（8） 林昌幸（9） 渡部宣裕（10） 宇野正信・高橋正典・山田隆士（11） 梶信昭（12） 徳永富夫・中村栄喜・山口次男・吉村博（13） 青木文次・木村邦博（14） 市毛美喜男（15） 椎名厚・寺元良人（16） 佐藤之俊・平田芳和（18） 坪井しのぶ（20） 野際摂子（23） 川畑龍雄（26） 殿垣哲也（28）

以上35名

第21回全日本社会人選手権大会（兵庫・尼崎市）

期日 昭和63年10月29日

場所 がんこ炉ばた焼

幹事 ○小柴守夫（8回卒）

寺元良人（16回卒）

平田芳和（18回卒）

川畑龍雄（26回卒）

規定演技が終わり、明日に自由演技を控えた土曜日の夜、親睦会は盛大に開催された。

大和銀行（平田倫敏）いわく、河合さん、今回も勝たせてもらってどうもありがとうございます。

河合楽器（慶田盛定）いわく、明日は今日のような試合はせえへんで。逆転で勝たせてもらいます。

日本大学（梶山広司）いわく、どちらにしても全日本選手権（仙台）はいただきだ。

今回のメインゲストは何と言っても22年ぶりに国内治安のよくないプエルトリコからの長期バカンスで帰国した人見省吾君（10回卒）である。人見君の話にみんな聞き入っていた。

尚、親睦会残金（6万円）で日大桜樹クラブの部旗（写真）を作成した。



[出席者]

遠藤幸雄（願） 稲橋恒行・石井征也（1） 早田卓次（4） 小柴守夫（8） 井上靖（9） 渡部宜裕・近藤明・津村二郎・人見省吾（10） 山田寿美（11） 武本好文（12） 宮川和三（15） 寺元良人（16） 梶山広司（17） 平田芳和（18） 慶田盛定（20） 平田倫

敏（21） 早瀬幸博・峯田孝幸・渡辺英明（23） 遠藤幸一・渡辺光昭（25） 川畑龍雄・千代恭司（26） 島田利夫（27） 石川幸一・殿垣哲也（28） 水島幸一・中根均・河西裕・山本新吾郎（29） 三川敦司（学生） 以上33名

第42回全日本選手権大会（宮城・仙台市）

期日 昭和63年12月3日

場所 江陽グランドホテル

幹事 中森 勉（17回卒）

松田 洋（18回卒）

○遠藤孝之（21回卒）

田中康義（21回卒）

ソウルオリンピックでの男子体操陣の活躍がまだ記憶に新しいこの時期に全日本選手権大会が仙台で開かれることは地元の中学生や高校生にとっても大変勉強になり刺激となりました。特に平成2年にはインターハイが宮城県で行われることもあり、本県の体操協会のスタッフも一丸となってこの競技会を成功させよう取り組みました。そして我らの母校日大男子チームが念願の団体初優勝を成し遂げるかということでもとても興奮しました。

そんな中で夜の親睦会には多数の桜樹会員の皆様方に参加して頂き、私たち幹事一同大変ありがたい限りでした。

昭和63年の全日本選手権大会が12月2～4日ということもあり忘年会シーズンと重なり、親睦会の会場探しに苦労しましたが、諸先生方、諸先輩方と久しぶりに楽しく大学のことや近況について話しができたことでその苦勞もいっぺんに吹き飛んでしまいました。

ただ残念なことは日大女子の全日本選手権大会
出場者がいなかったことです。木村先生も寂しそ
うにしておられました。私たちができる限り応
援しますので、どうぞ頑張ってください。

これからも益々の日大体操部の大きな飛躍を
願っております。

[出席者]

遠藤幸雄(願) 稲橋恒行(1) 早田卓次・木村多
喜(4) 佐藤勲(7) 渡部宣裕・近藤明・津村二
郎・津村多賀子(10) 高橋正典・宇野正信(11)
中森勉・梶山広司(17) 松田洋(18) 慶田盛定・
岡崎高典(20) 平田倫敏・山崎至・田中康義・遠
藤孝之・遠藤みのり(21) 早瀬幸博・峯田孝幸
(23) 遠藤幸一・渡辺光昭(25) 川畑龍雄・千代
恭司(26) 島田利夫(27) 石川幸一(28) 水島幸
一・山本新吾郎(29) 古川堅(学生) 和田勝(日
本大学工学部教員) 以上35名

昭和63年度会員総会報告

7回卒 海 谷 美代子

期 日 平成元年 3月28日 (火)
場 所 日本体育協会 402号室
出席者 1回卒 稲橋恒行, 石井征也
2回卒 平川文雄, 堀田淳二
3回卒 早乙女貞夫
4回卒 菊地君男, 高田信興
5回卒 志賀正昌
6回卒 鶴見興人
7回卒 海谷美代子, 佐藤 勲
9回卒 朝倉徳雄
10回卒 津村二郎, 渡部宣裕
13回卒 塚田和茂
17回卒 梶山広司
25回卒 遠藤幸一
29回卒 中根 均
以 上 18 名
委任状 194 名分

挨拶 会長 稲橋恒行
議長及び書記選出 議長 平川文雄
書記 海谷美代子

<報告事項>

1. 事業及び行事報告

(1) 桜樹会関係

・菊地総務から資料をもとに昭和59年～63年度の事業及び行事について報告があった。

・社会人大会については梶山コーチから報告があった。

(2) 体操部関係

・早田監督が文部省の仕事で欠席のため梶山コーチから次のような報告があった。

(イ) 従来、日大三島高校において実施されていた春季合宿が、昭和61年3月より土浦日大高校で行われるようになった。

(ロ) 昭和61, 62, 63年と、男子のインカレ団体優勝が続いているが今年も連勝記録を伸ばすべく部員一同頑張っている。

(ハ) ソウルオリンピックで話題を呼んだ高校生メダリストのひとり西川が、新入部員として坊主頭で頑張っている。

2. 昭和63年度会計報告

・菊地総務から昭和63年度収支決算書 (P. 20 参照) について報告があった。

3. 会計監査報告

・石井副会長から、3月17日の幹事会において小栗会計監査をはじめ複数の幹事による監査の結果相違ないことを確認した旨報告があった。

4. その他

(イ) 体操部への補助金について

稲橋：現在、東京都体育館が使用不可であるためインカレ及び全日本などの大会が地方

で開催されている。従って、体操部の財政も苦しいと思われるのだが、今のところ特に補助の依頼もないが大丈夫なのか？

梶山：会計は監督まかせなのでよくわからないが、確かに今までインカレについては1年毎に東京と地方とで交互に開催することが原則であったので何とかやりくり出来たのだと思う。しかし今年は会長の指摘通りであり大変苦しい状況にあると思われる。昨今は部員数も少なく部費等には期待できない。例年通りの補助をお願いできれば大変ありがたい。

(ロ) インカレ祝勝会について

石井：インカレ優勝の祝いを昭和61年以来やっていないのが申し訳ないと思うが…

菊池：相撲部やゴルフ部など著名な部の祝勝会は年々派手になり一流ホテルなどで実施している現状の中で、国会としてどの程度が可能なのか迷いがあったことと、会長・総務の私的繁忙とが重なり時期を失ってしまった。

稲橋：会を運営していくのが精一杯で、招待者の費用を捻出できないのが実情。会員の出席者も40~50名程度しか見込めず、会費も高額となりさらに出席者も減りかねない。企画が大変むずかしいのが現状である。

石井：OB予備軍の祝いもしてやれないのは遺憾である。

(ハ) 社会人大会について

遠藤：社会人チームも補助金をもらっているの

で報告をした方がよいのでは。

菊池：梶山コーチから大まかな報告は受けているが不十分であれば補足して頂きたい。

遠藤：いつも10~12万円の補助を受けている。使途の内訳は、選手登録料、参加申し込み金、保険料、交通費補助、宿泊費補助、地元チームリーダーへの謝礼などである。

<審議事項>

1. 役員改選

(現在) 昭和59~63年度

会長 稲橋恒行

副会長 石井征也, 堀田淳二

会計監査 小栗郁郎, 前山真一郎

平川：留任でよいという声があるがどうか。

堀田：仕事の関係で常時出られないので辞退したい。

菊池：かつて平川氏が同様の理由で堀田氏と交代した経緯があるので、平川氏復活というはどうか。

平川：若い人がよいのでは。

菊池：若い人は幹事に起用するとして。

平川：決をとる。(若い人……1, 平川……多数。)

菊池：会計監査の前山氏が大阪在住となったので交代した方がよいと思うが。堀田氏ではどうか。

堀田：会計監査ならできると思う。

(平成元年度役員)

会長 稲橋恒行

副会長 石井征也, 平川文雄

会計監査 堀田淳二, 小栗郁郎

2. 事業及び行事計画

石井：新役員による幹事会を早急に開いて、その場で決めるべきである。

平川：どうか？（全員賛成）

遠藤：幹事を決めるに当たって一言。

できるだけ若い会員にも理解される桜樹会にしていきたいので、できれば若い会員の意見もくみあげていくような常任幹事会の設置が必要と思われる。

稲橋：今後の会の発展のために、若い力が必要である。しかし今まで尽力してくれた人を忘れてはならないということを踏まえて、まずは遠藤君を総務に……。

また、女子会員の積極的な参画や常任幹事会の設置などいろいろ考えていることがあるがいずれ幹事会を開いて具体化していきたいと思う。

菊地：遠藤君の総務というのは、会則の定めるところにより会長が指名するというものであり、菊地から遠藤君に総務をお願いしたということではないことを断っておきたい。

3. その他

津村：日大 100周年に際して桜樹会としてまとめて寄付してはどうか。

稲橋：スポーツマンクラブに席を設けてあるので、そこへ移って話を続けよう。

平川：一応ここで議事は終了して、あとはスポーツマンクラブにて。

（このあとスポーツマンクラブにおいて会食をしながらの座談となったが、そこでは、桜樹会の財政を豊かにするうまい方法はないかとか、女子の出席を増やすにはどうすれば良いかとか、あるいは毎年行われてきた忘年会の模様など、建設的かつ愉快な話題が中心であった。）

文責 海谷

日本大学桜樹会収支決算書

日本大学桜樹会総務

菊地君男
鶴見興人

(収支決算書)

自：昭和63年 4月 1日

至：平成元年 3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収 入 総 額	1,455,352	1,858,808	403,456
支 出 総 額	1,455,352	903,540	551,812
差 引 (次年度繰越金)	0	955,268	955,268

(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	755,352	755,352	0	
会 費	700,000	846,000	146,000	185名分
寄 付	0	20,000	20,000	
雑 収 入	0	51,456	51,456	オリンピック壮行会残金
記 念 誌 代	0	18,000	18,000	6冊分
特 別 収 入	0	168,000	168,000	壮行会記念品代
合 計	1,455,352	1,858,808	403,456	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事 業 費	300,000	285,000	15,000	会報22号, 社会人大会費用
補 助 費	200,000	250,000	△50,000	インカレ補助
会 議 費	50,000	25,100	24,900	体協室代, 幹事会軽食代等
通 信 費	200,000	211,540	△11,540	会報送料, 諸通知等
事 務 費	30,000	0	30,000	
印 刷 費	50,000	0	50,000	
雑 費	10,000	7,830	2,170	口座手数料
予 備 費	615,352	124,070	491,282	オリンピック選手・役員饂別
合 計	1,455,352	903,540	551,812	

昭和63年度 会費納入状況

総額 846,000円

No.	月日	氏名	金額	No.	月日	氏名	金額
1	63. 4. 1	水島 宏一	2,000	26	4. 2	西巻 洋一	8,000
2	"	小比類卷英夫	2,000	27	4. 3	岡本みどり	5,000
3	"	関口 和人	2,000	28	4. 4	斉藤 敬一	10,000
4	"	上田 秀一	2,000	29	"	垂石 守	3,000
5	"	中根 均	2,000	30	"	伊藤 奈美	2,000
6	"	名倉 靖之	2,000	31	4. 7	猪野木明美	3,000
7	"	山本新吾郎	2,000	32	"	岡田 洋二	4,000
8	"	河西 裕	2,000	33	4. 8	二木喜代美	3,000
9	"	加藤 嘉明	2,000	34	"	鈴木 正雄	4,000
10	"	佐藤 善幸	2,000	35	4. 12	島田 利夫	2,000
11	"	高橋 良明	2,000	36	4. 15	遠藤 幸一	2,000
12	"	平田 正美	2,000	37	"	高橋 和秀	8,000
13	"	佐久本愛子	2,000	38	4. 16	過足 重六	5,000
14	"	松沢小百合	2,000	39	4. 19	早田 卓次	10,000
15	"	浮田 聖子	2,000	40	"	中村 栄喜	4,000
16	"	古野 民世	2,000	41	4. 22	村上 秀宣	3,000
17	"	田中 智恵	2,000	42	5. 19	酒田 隆	3,000
18	"	木村 多喜	5,000	43	6. 3	岩田 惇	5,000
19	4. 2	小内 格子	2,000	44	6. 4	原 弘吉	10,000
20	"	川久保祐司	2,000	45	6. 7	下鳥 敦子	2,000
21	"	赤井 和子	5,000	46	"	林 宏行	2,000
22	"	徳永 富夫	5,000	47	6. 9	平川 文雄	5,000
23	"	久保田一行	4,000	48	"	阿部 稔	5,000
24	"	常井 晴道	5,000	49	"	保坂 弘一	5,000
25	"	小柴 守夫	5,000	50	"	桜井 一男	2,000

No.	月 日	氏 名	金 額	No.	月 日	氏 名	金 額
51	6. 9	関口 和人	2,000	76	6. 12	遠藤 孝之	3,000
52	"	森山 理	5,000	77	"	河原 正昭	5,000
53	"	平田 倫敏	3,000	78	"	境 保則	4,000
54	"	川部 力夫	5,000	79	"	大塚 文雄	10,000
55	"	望月 敏正	5,000	80	"	正木 恭子	3,000
56	6. 10	菅野 秀俊	5,000	81	"	加藤 博章	3,000
57	6. 11	近藤 明	5,000	82	6. 13	工藤 昌二	5,000
58	"	田野 哲	5,000	83	"	野際 摂子	3,000
59	"	山内 悟	5,000	84	"	杉沼 誠	3,000
60	"	長沢 和子	2,000	85	"	橋口 幸弘	4,000
61	"	慶田盛 定	3,000	86	6. 15	城本真理子	3,000
62	"	佐藤 晶子	2,000	87	"	伊藤 寛美	10,000
63	"	網島 路正	15,000	88	"	佐々木敏子	4,000
64	"	高橋 千春	2,000	89	"	戸沢 滋	5,000
65	"	朝倉 康雄	5,000	90	"	吉川 秀之	2,000
66	"	中村 秀二	7,000	91	"	中西富士子	3,000
67	"	安藤 久美	4,000	92	6. 16	安里 順一	2,000
68	6. 12	伊東 恭一	5,000	93	"	志村 久子	4,000
69	"	斉藤 繁美	2,000	94	6. 18	金子 洋平	5,000
70	"	武田かおり	2,000	95	"	船木 政明	5,000
71	"	山田 隆士	5,000	96	"	松山 禎一	8,000
72	"	梶山 広司	4,000	97	"	川久保祐司	3,000
73	"	安藤 泰行	5,000	98	6. 20	高橋 正典	3,000
74	"	竹江真由美	2,000	99	"	芳尾 明	5,000
75	"	石川 幸一	2,000	100	"		5,000

No.	月 日	氏 名	金 額	No.	月 日	氏 名	金 額
101	6. 20	梶 信昭	5,000	126	7. 8	小野田博之	2,000
102	"	桃井 明男	10,000	127	7. 9	山本 光子	5,000
103	"	伊藤 勇	5,000	128	7. 10	大和 孝三	20,000
104	6. 22	藤田 力雄	5,000	129	"	天童 毅	2,000
105	6. 23	山脇 恭二	4,000	130	"	後藤 郁代	3,000
106	"	田嶋しのぶ	2,000	131	7. 11	岡本 公子	5,000
107	"	長谷部 薫	3,000	132	"	松下 悦子	3,000
108	6. 26	殿垣 哲也	2,000	133	7. 14	松本 俊一	4,000
109	"	水田 靖夫	4,000	134	"	伊谷 正一	5,000
110	"	錦井 利臣	4,000	135	"	小林 敏彦	8,000
111	"	平田 芳和	4,000	136	"	初山 芳雄	10,000
112	"	森元 潤一	3,000	137	"	佐藤 勲	5,000
113	"	白土 弘士	4,000	138	7. 16	潘 鏡雄	3,000
114	"	森 重樹	5,000	139	7. 18	櫛谷 宗敬	5,000
115	"	西原由美子	5,000	140	7. 23	山崎 常雄	3,000
116	"	吉田 清一	3,000	141	7. 24	柏谷 錦一	3,000
117	6. 30	田中 章二	4,000	142	7. 25	小坂井一弘	3,000
118	"	田中久美子	4,000	143	"	浅田 泰男	5,000
119	7. 1	峯田 孝幸	3,000	144	7. 27	山中 勝男	7,000
120	7. 2	渡辺 英明	3,000	145	"	山本 好隆	5,000
121	7. 4	金居 俊郎	4,000	146	"	外山 宜男	20,000
122	"	藪野 睦明	4,000	147	7. 28	三田 久	5,000
123	"	松本 恭子	5,000	148	"	金子 正史	5,000
124	7. 6	岩崎 朗子	2,000	149	7. 29	杉田智加子	4,000
125	7. 7	寺元 良人	4,000	150	8. 1	仲内 尚志	3,000

No.	月 日	氏 名	金 額	No.	月 日	氏 名	金 額
151	8. 11	寛山 秀成	5,000	176	12. 14	米田 賢一	5,000
152	8. 14	中森 勉	4,000	177	1. 3. 6	朝倉 徳雄	5,000
153	8. 20	坪井しのぶ	3,000	178	3. 15	菊地 君男	5,000
154	"	影山 真一	5,000	179	3. 17	早乙女貞夫	10,000
155	8. 22	針替 信之	3,000	180	"	平川 文雄	5,000
156	"	大野 祐二	2,000	181	"	小松 武雄	10,000
157	8. 24	山本 俊子	3,000	182	"	小栗 郁郎	15,000
158	"	茂木こずえ	3,000	183	"	原 弘吉	5,000
159	8. 25	小俣里知子	10,000	184	"	海谷美代子	5,000
160	"	西原由美子	30,000	185	"	早田 卓次	5,000
161	8. 26	塚越美和子	4,000				
162	8. 27	舟山 忠広	5,000				
163	8. 31	松田 洋	4,000				
164	"	岡崎 高典	3,000				
165	9. 1	平野 昌宏	5,000				
166	9. 2	外山 宜男	2,000				
167	9. 3	門脇 隆	5,000				
168	9. 4	千野 良一	5,000				
169	9. 5	塚田 和茂	4,000				
170	9. 14	八木 宏克	2,000				
171	9. 19	岩沢 稔	5,000				
172	10. 6	片山みちる	3,000				
173	10. 7	水島 克己	3,000				
174	10. 14	吉村 博	5,000				
175	12. 13	松田 明	5,000				

オリンピック・ソウル大会役員・選手壮行会

期 日 昭和63年 9月 1日 (木)

場 所 日本大学会館

役員 遠藤幸雄 (監督)

梶山広司 (男子チームリーダー), 平田倫敏 (男子コーチ)

選手 水島宏一 (関西高校出身, 大学院博士前期1年)

佐藤寿治 (市立船橋高校出身, 文理学部2年)

出席者 顧問 浜田靖一, 門脇春男, 後藤清一, 勢能一男

1 稲橋恒行, 石井征也

2 吉川 輝, 芳尾 明, 平川文雄, 堀田淳二

3 早乙女貞夫, 金子正史

4 上野 剛, 早田卓次, 高田信興, 菊地君男

5 志賀正昌, 金子洋平, 小栗郁郎, 山中勝男

6 鶴見興人

7 海谷美代子, 山本光子

8 橋口泰武

9 林 昌幸, 朝倉徳雄

10 高波司雄, 津村二郎, 津村多賀子, 箱根 修

11 工藤昌二, 山本好隆, 原 弘吉, 綱島路正

12 相原和明

13 菅野秀俊, 塚田和茂

14 山崎雅昭, 外山宜男, 久保光正

15 谷田部光則

16 志村久子

17 梶山節子

20 渡辺嘉三

21 岩井高志

25 高橋千春, 遠藤幸一

27 吉川秀之

29 中根 均, 河西 裕

以 上 5 5 名

体操部員 5 3 名

記念品代のみ協力者氏名

総額 168,000円

岡本みどり
田野 哲
西原由美子
寺元 良人
田中 章二
井上 靖
慶田盛 定
柏谷 錦一
小比類卷英夫
五十嵐久人
関口 和人
佐藤 勲
松田 洋
宇野 正信
岡本 公子
内藤 里香
天童 毅
岩沢 稔

橋口 幸弘
中島 孝
仲西 盛光
針替 信之
宇津 豊
中村 幸子
卷島 久
茂木こずえ
小俣里知子
住広 晃
川部 力夫
松田 明
矢木 幹男
松本 恭子
小柴 守夫
山内 悟
平野 平三

中森 勉
桑原 透
山田 隆士
寛山 秀成
田島 清貴
清水 克彦
川畑 龍雄
林 宏行
吉田 清一
塚越美和子
山崎 忠男
中谷 秀明
田中 知恵
平野 昌宏
門脇 隆
高橋 正典
勢能 一男

以 上 5 2 名

男子アジア地区第Ⅶ期国際審判員認定講習会報告

25回卒 遠藤幸一

平成元年3月26日から28日までの3日間、男子国際審判員の講習会が行われた。受講者代表として試験問題について覚えている限り報告する（英文の質問だったので多少文章表現が異なる場合がある。また、40問の試験問題があったが覚えていない問題がいくつかあることをご了承願いたい）。

<試験問題>

1. 基準点の算出の具体例を挙げなさい。
2. 競技Ⅲにおいて次の難度で演技した場合、何点減点か。
3. 不規律な態度として減点される具体例を2つ挙げなさい。
4. 競技Ⅰ～Ⅲの要求難度を示しなさい。
5. 決定点が次の場合、中間の2つの点の差の許容範囲は何点か。
6. 規定演技において与えられる加点の領域は。
7. 規定演技において1つの区分を全く演技しなかった場合の減点は。
8. 自由演技における採点内容である4つの領域を示しなさい(☒を除く)。
9. 小欠点、中欠点、大欠点におけるそれぞれの減点の範囲は。
10. 実施減点の大、中、小欠点を決定づける要因は何か。
11. ゆかの特別要求を示せ。
12. D難度の技を3歩を越える助走で行った場合の減点は。
13. ゆかの演技面を踏み越えた場合の減点は。
14. ゆかの演技時間の上限は。
15. シュピンドルでD難度をとるためには旋回を何周で1回ひねればよいか。
16. あん馬において1部分しか使用せずに演技した場合の減点は。
17. 旋回3周で馬端から馬端まで前移動した場合の難度は。
18. 交差に要求される肩より高く上げなければならない腰の点はどこか。
19. 特別要求の1つであるB以上の馬端部の技の条件を述べなさい。
20. つり輪の力技に要求されている難度は。
21. 力技の静止が1秒だった場合の減点は。
22. 上水平支持(2秒静止)－伸腕伸身力倒立の難度は。
23. 競技Ⅲにおいて同一技を2本跳んだ場合どうなるか。
24. 助走で馬体を触れず一端戻ってまた助走をして跳んだ場合の対処は。
25. 屈身クエルボとびの価値点は。
26. 屈身とび1 1/2ひねりの価値点は。
27. 平行棒において静止技を入れなくてはならないか。
28. 平行棒におけるD難度の技を2つ記せ。
29. 平行棒における特別要求を示せ。
30. 車輪において倒立で止まったときの減点は。
31. 放れ技の成立はどこで決定されるか。
32. 落下に対しての減点は。
33. 片手車輪－片手トカチェフトカチェフ－ギンガーの難度は。

1989年度 日本大学桜樹会・日本大学体操部行事予定

(日本体操協会行事を含む)

4月19日現在

月	日	行 事
4	8 23~24	入学式 (武道館) アジア・ジュニア選手権大会 (北京)
5	4~5 7	国際スポーツフェア (代々木第1) 新入生歓迎会 (砦公園)
6	3~4 17~18	東日本学生選手権大会 (秋葉台文化体育館) 世界選手権大会2次予選 (大和市スポーツセンター)
7	15~16 30~8/4	世界選手権大会最終予選兼NHK杯 (和歌山) 全日本学生選手権大会 (越谷市立総合体育館)
8	7~10 12~16 17~20 20~25	全国高校総体 (徳島) 全日本ジュニア選手権大会 (横浜) ユニバーシアード (開催未定) 全国中学校大会 (広島)
9	2~3 9~10 17~21 30~10/1	国際ジュニア選手権大会 (横浜) 全日本社会人選手権大会 (福井) 国民体育大会 (小樽) 全国高校選抜大会 (岐阜)
10	15~22 上旬	世界選手権大会 (シュツトゥガルト) 関東学生新人選手権大会
11	10~12 18~19 23	全日本選手権大会 (北九州) 中日カップ国際選抜競技会 (名古屋) 東京カップ国際選抜競技会 (東京)
12	14~24	大学生強化ツアー
2	上旬	卒業生送別会
3	下旬 25 下旬	モスクワ・ニュース杯 (ソ連) 卒業式 日本大学桜樹会総会

<主要大会開催予定地>

	' 90	' 91	' 92
全日本学生選手権大会	西宮	青森	
全国高校総体	宮城	静岡	
全国中学校大会	松山	福岡	
全日本社会人大会	山形	米子	滋賀

平成元年度体操部役員および部員

体操部役員

顧問	浜田 靖一
部長	門脇 春男
副部長	遠藤 幸雄
監督	早田 卓次
コーチ	木村 多喜
"	梶山 広司
"	遠藤 幸一
コーチ兼	水島 宏一
選手	中根 均
"	渡辺 仁

さらにグレードアップした体育館へ!!!

ついに完成した \square と \square のピットをぜひご覧あれ。
また、照明も今までより2倍の明るさに大変身。
休日は10時頃から女子、12時頃から男子の
練習が始まります。お近くにお越しの際はぜひ
お立ち寄り下さい。

<練習場>

日本大学文理学部第2体育館3階体操場

03-329-1151(内線274)

体操部員 61名(男子36名、女子25名)

<4年>

田村 真	中京高
佐藤 徹	日大豊山高
都築 正一	日大山形高
金野 東	能代高
林 洋介	鳥取東高
井本 吉彦	洛南高
川口 雅志	土浦日大高
助信 昌俊	崇徳高
中山 孝之	旭川大学高
藤井 千法	飾磨高
江川 広昌	日大明誠高
長澤 郁子	習志野高
松本ますみ	荏田高
井上 千代	誠心高
堤 千佐子	大分女子高
中野 久美	相工大附高
石山佳奈子	新潟中央高
田澤 千晶	鶴岡北高
相沢由美子	土浦日大高

<3年>

佐藤 寿治	市立船橋高
石井 宏樹	太田工業高

遠藤 慶	保善高
徳江 和則	日大藤沢高
大塚 孝幸	能代高
高内 浩志	土浦日大高
藤原 由文	洛南高
前田 訓志	調布北高
喜多川和也	日大豊山高
高井 一成	和歌山北高
増田 睦美	三原高
西村 美也	奈良育英高
岡 美奈	八千代高
只友 直美	夙川学院高
小林 美穂	光華高
野平 悦子	佼成学園女子
山口 光代	高崎女子高

<2年>

松永 政行	興南高
竹田 盛勝	土浦日大高
田中 佳昭	洛南高
橋本 和雄	日大東北高
平井 博之	関西高
山本昭二郎	静岡学園高
三富 洋昭	吉田商業高

須田 千絵	川越商業高
豊田麻規子	習志野高
橋尾 里華	米子商業高
平野真由美	和洋女子高
川崎 聖子	昭和学院高
明石美也子	習志野高

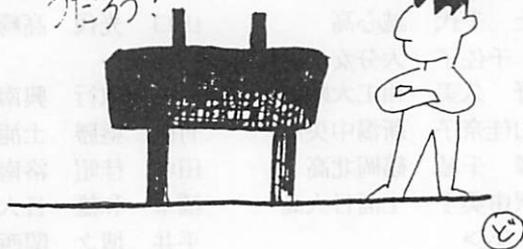
<1年>

西川 大輔	清風高
石田 一典	尼崎産業高
岩田 剛	土浦日大高
佐伯 崇嗣	洛南高
中塚 伸次	関西高
林 克彦	土日大岩瀬
森泉 貴博	埼玉栄高
君嶋 孝之	矢板中央高
伊東美智子	市立船橋高
衛藤 聖子	鶴見女子高
小林 明子	相工大附高
宮本しおり	三原高

桜樹ニュース

- 早田卓次 監督教授に昇格
- 国際審判員認定試験桜樹参加
加会員全員合格（佐藤勳、
渡部宣裕、津村二郎、近藤
明、遠藤幸一）
- ゆかと跳馬のピット完成
- 体育館2倍の明るさに
- 女子合宿所引越し

はじめてあん馬を見た人は
一体、何をやるものかと思
うだろう？



体操競技指導者へ原稿募集のお願い

体操競技指導者として活躍されている諸先輩方の体験談（よかったこと、悪かったこと、成功したこと、失敗したこと、今後の指導に望むことなど）の原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんのでぜひ投稿していただきたいと思っています。なお、こちらから原稿依頼をさせていただく場合もありますので、もし依頼状が手元に届きましたらお忙しいとは存じますが桜樹会の発展のためにも少しの時間をさいて寄稿していただけるようお願い申し上げます。

投稿および連絡先

〒157

東京都世田谷区北烏山7-5-12

遠藤 幸一

TEL 03-309-0055

毎年3月31日締切

試合会場案内

桜樹会員の皆さんがちょっと気が向いたとき、足を運んでいただこうと全国の著名な体操競技の試合会場の地図を記しました。不足分は今後の桜樹会報に連載していきますので県内大会の試合日程や会場案内図画ございましたらぜひ遠藤幸一までご投稿願います。

秋葉台文化体育館

路線バス時刻表

①遠藤

湘南台駅行		
時	平日	休日
8	02 14 24	00 17 31 55
9	07 32 37 52	07 27 37 52
10	39 57	34 57
11	15 47	15 42
12	22 37	22 37
13	19 42	12 37
14	02 50	02 50
15	17 42	17
16	02 22 57	02 22 52
17	17 32 47	17 32
18	06 32 52	02 27 52
19	19 25 37	15 17 37 52

②秋葉台文化体育館

湘南台駅行		
時	平日	休日
7	27 46	
13		02 57
15		47
16	22	
17	02	
19	12	
22	22	17

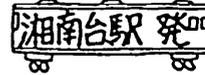
③東京ラジエーター前

湘南台駅行		
時	平日	休日
7	00 26 45	00
12		48
13	03	01 56
15		38 46
16	08 21	
17	01 18	18
19	11 48	23
22	21	16

(注) 文化体育館前を通りません

④寺昌寺前

湘南台駅行		
時	平日	休日
7	19 55	19
8	34	29
9	07 30	15 27
10	19 57	28
11	35	02 45
12	09 26	18 33
13	28 46	01 34 51
14	04 49	22 50
15	15 36 48	13 32
16	02 45	06 46
17	03 16	23
18	05 32	00 35
19	20 47	45



～文化体育館前

時	平日	土曜	日曜
8	36	36	36
9	11 41	11 41	05 33
10	26 55	29 57	31
11	30	30	25 54
12	30	30	25
13	25	25	25
14	25	25	25
15	30	30	30

～遠藤

時	平日	休日
7		41
8	35	30
9	55	
10		12 45
11	25	17 46
13	02 35	
14	06 57	
15	26	
16	40	10
17		05
18		25
20		57
21	00	

～藤沢駅

～茅ヶ崎駅

時	平日	休日	時	平日	休日
8	15 30	10 30	8	12 40	42
9	20 50	05 20 50	9	43	40
10	53	45	10	10	10
11	15	15 55	11	30	30
12	05 41	41	12	50	50
13	30 55	25 55	13		
14			14	15	15
15	05	05	15	30	30
16	00 15	15	16	35	35
17	15 30	05 35	17	50	50
18	05 20	20	18	45	40
19	03 35	10 35	19	40 50	30 50

湘南台駅行(桐原公園経由)

時	平日	土曜	休日
8	49	51	51
9	26 56	21 56	20 48
10	41	40	46
11	10 45	12 45	40
12	45	45	09 40
13	40	40	40
14	40	40	40
15	45	45	55

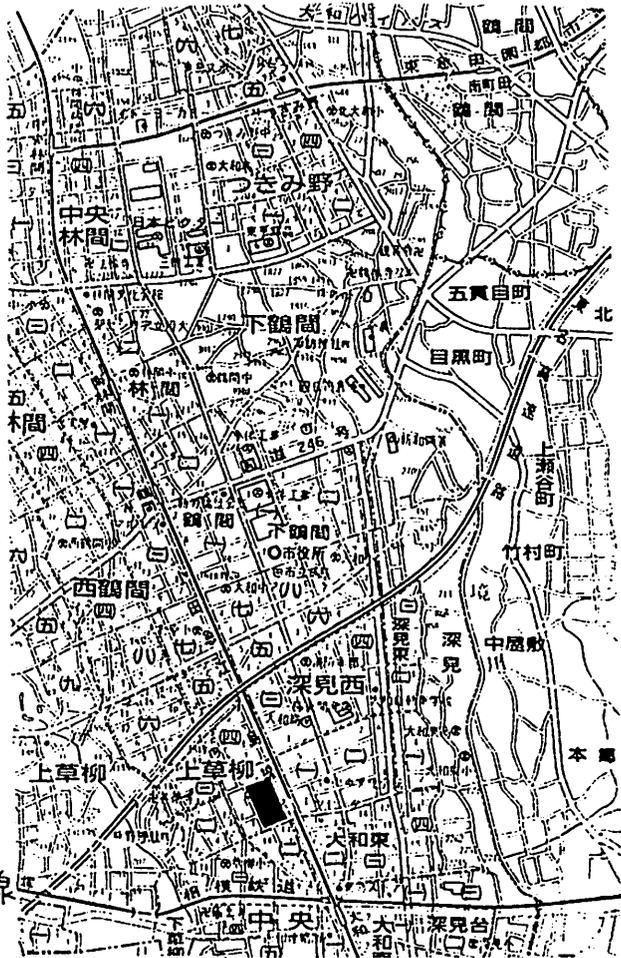
藤沢駅行

時	平日	休日
8	06 36	04 19 39 54
9	06 21 31 47	09 24 39 57
10	10 24 41	14 34 59
11	06 29 53	24 49
12	15 39	14 39
13	14 47	19 54
14	14 39	09 29 57
15	01 31 54	14 34 55
16	14 24 54	09 24 45 57
17	15 29 49	27 44
18	11 19 32 43 57	04 19 32 48
19	09 22 39 49	09 29 49
20	06 24 43	09
21	06 48	24
22	19	19

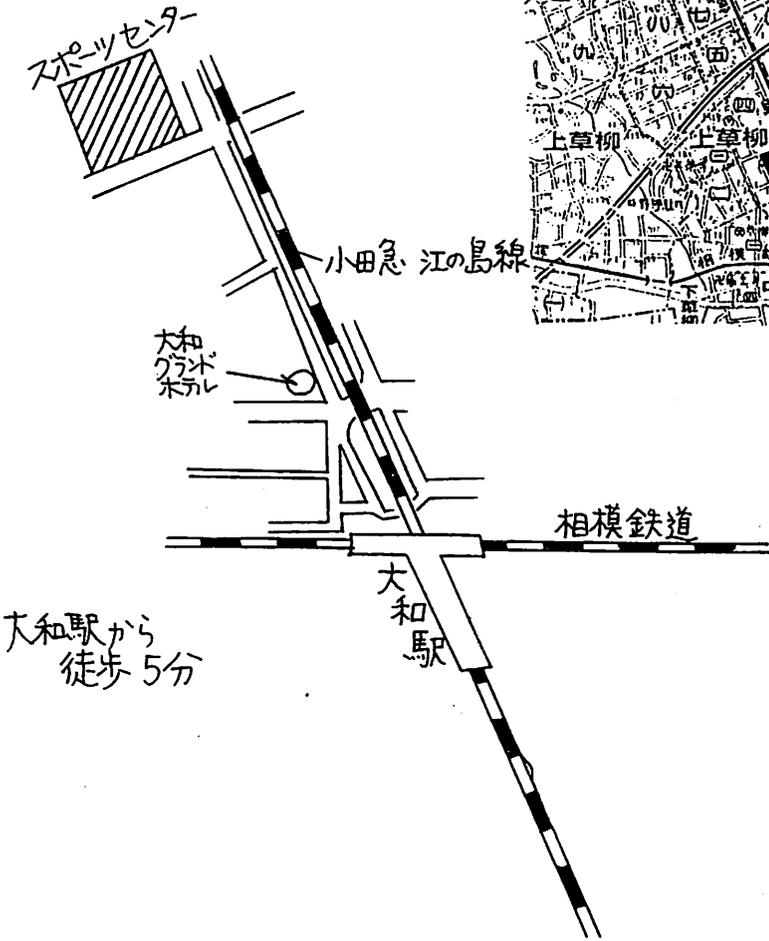
タクシー相愛交通株式会社

TEL (0466)-87-2611

大和市スポーツセンター



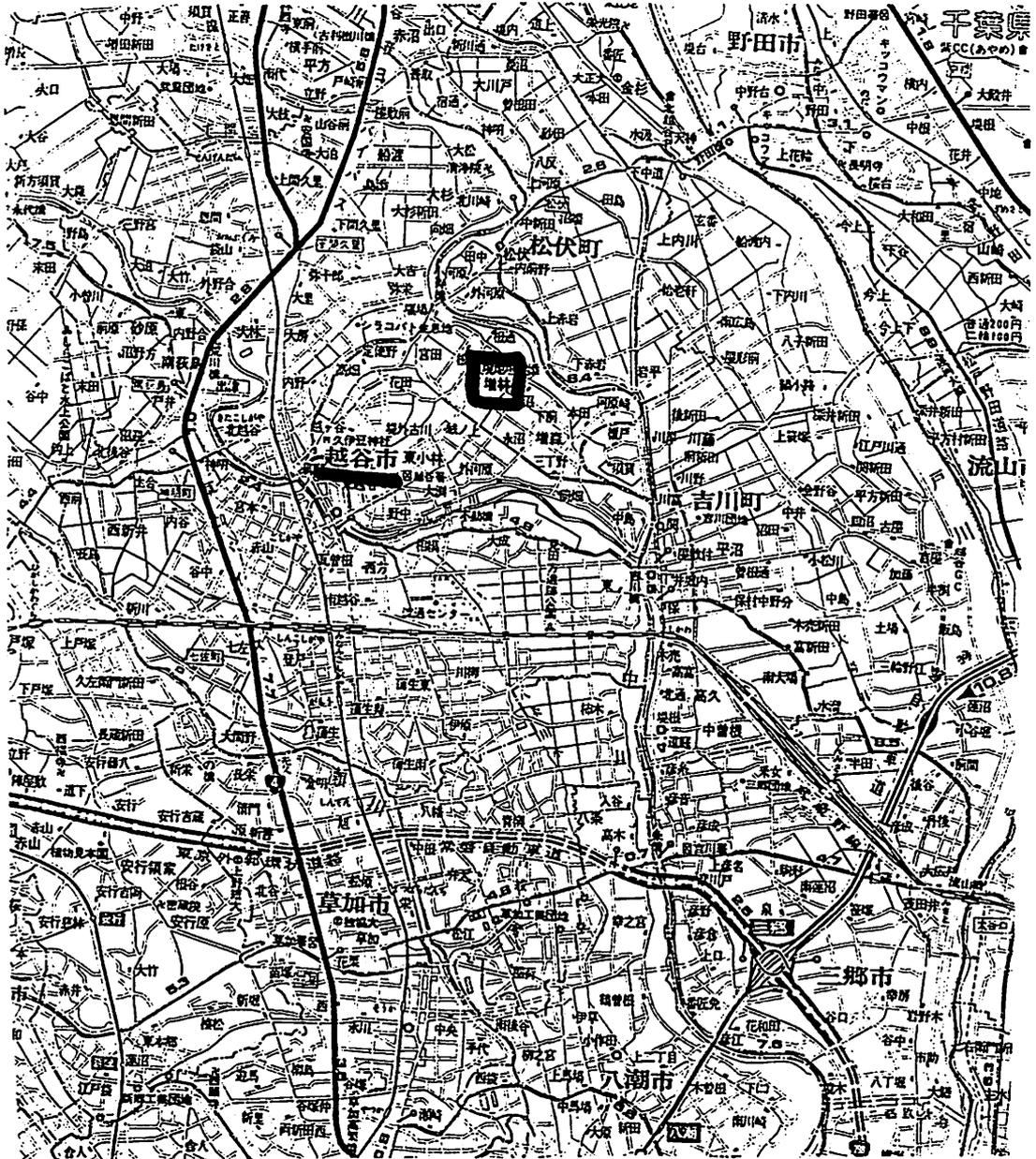
※エアリマップ
 神奈川
 昭文社より
 (1988.7)



越谷市総合体育館

越谷市増林2-33

☎0489-64-4321



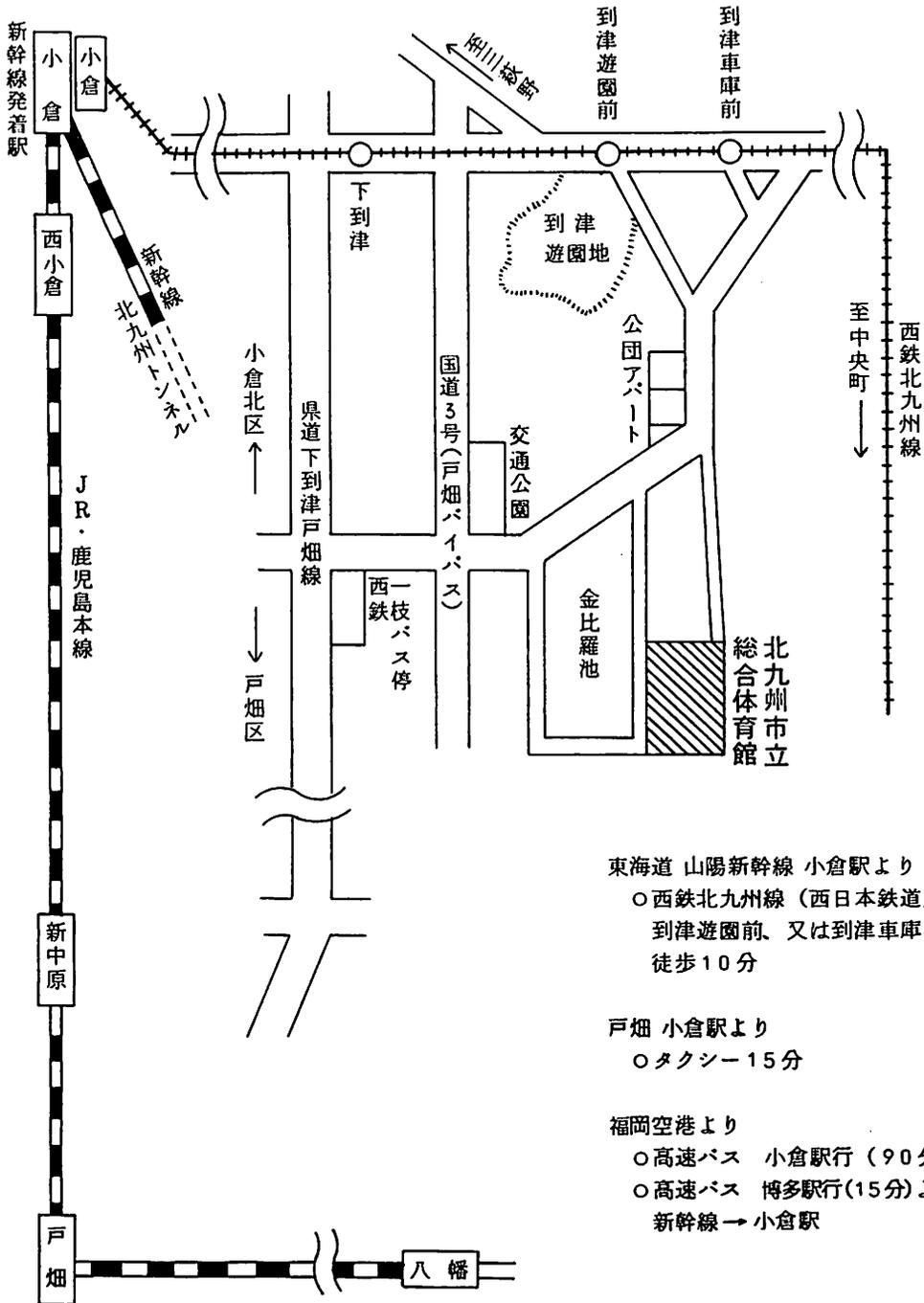
※エアリマップ グランプリ®

首都圏道路

昭文社より

(1989. 1)

北九州市立総合体育館



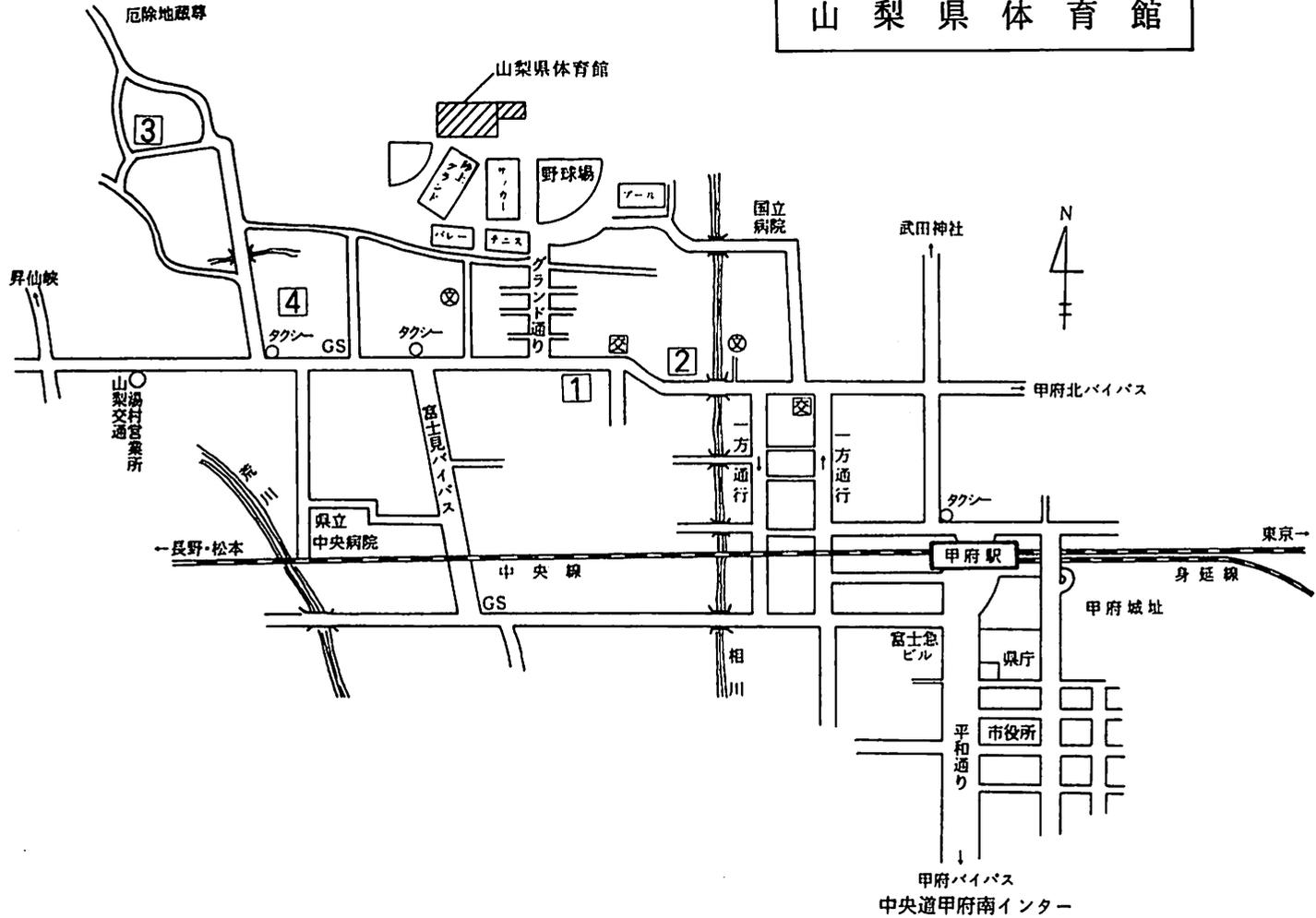
東海道 山陽新幹線 小倉駅より
 ○西鉄北九州線 (西日本鉄道)
 到津遊園前、又は到津車庫下車
 徒歩10分

戸畑 小倉駅より
 ○タクシー15分

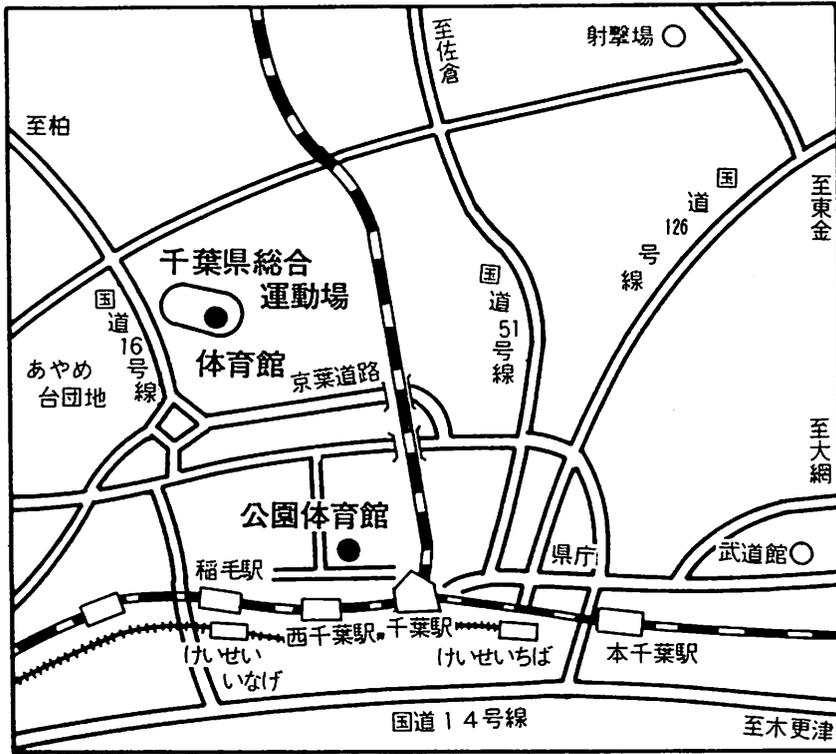
福岡空港より
 ○高速バス 小倉駅行 (90分)
 ○高速バス 博多駅行 (15分)より
 新幹線 → 小倉駅

北九州市立総合体育館
 北九州市八幡東区八王寺町4番1号
 TEL 093-652-4001

山梨県体育館



千葉県総合運動場体育館



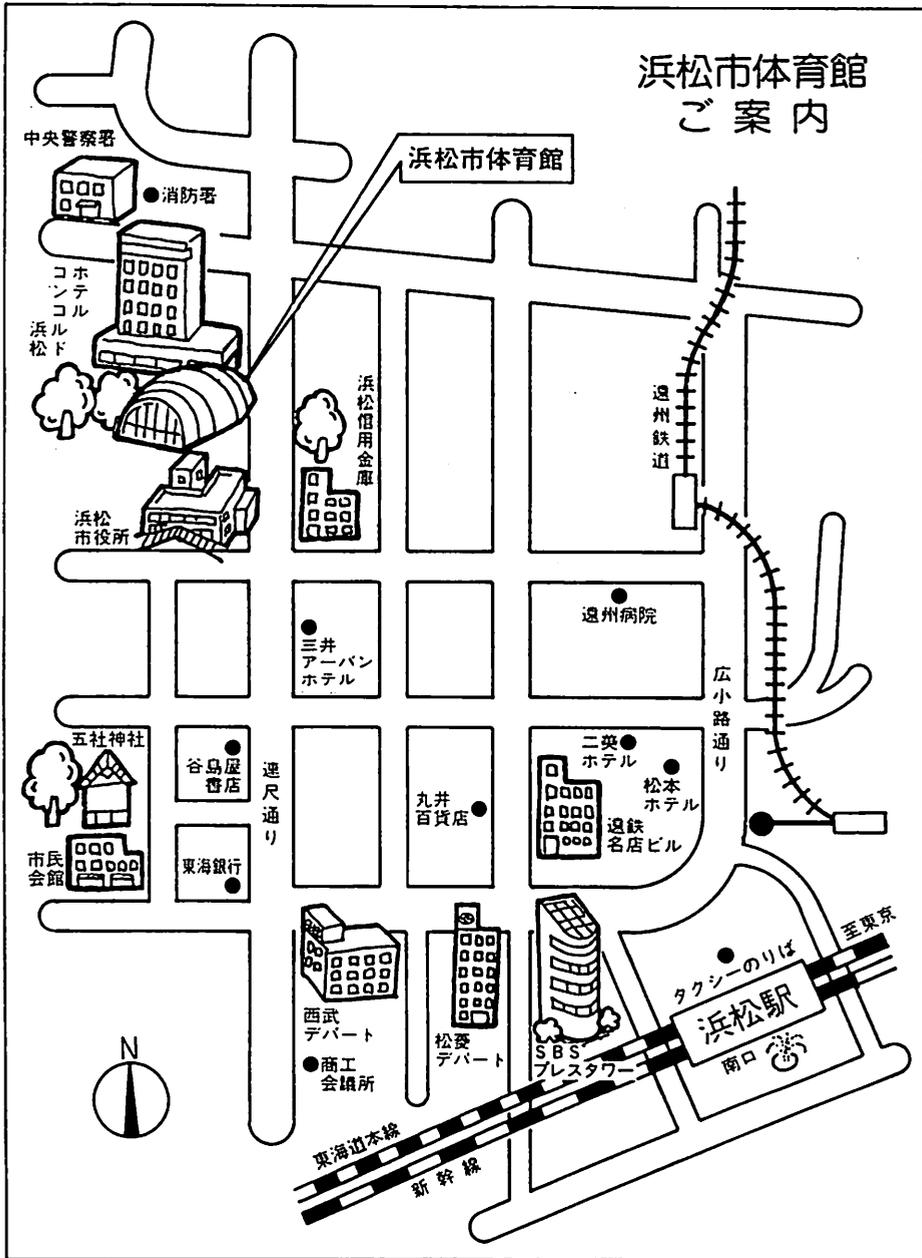
千葉県総合運動場体育館 〒260 千葉市天台町285
TEL 0472(51)1281~3(代)

国鉄西千葉駅東口 } から京成バス草野車庫行スポーツセンター下車
国鉄稲毛駅東口 }

千葉公園体育館 〒260 千葉市弁天3-1-1
TEL 0472(53)8050

国鉄千葉駅または国鉄西千葉駅より徒歩10分

浜松市体育館



昭和63年度

競技会成績

- ・ 第22回東日本学生選手権大会
- ・ ソウル・オリンピック代表決定競技会
- ・ 第42回全日本学生選手権大会
- ・ 第24回オリンピック・ソウル大会
- ・ 関東学生新人戦
- ・ 第43回国民体育大会
- ・ 第21回全日本社会人選手権大会
- ・ 中日カップ、東京カップ国際競技会
- ・ 第42回全日本選手権大会

第22回東日本学生体操競技選手権大会

昭和63年5月14、15日

藤沢市秋葉台文化体育館

[日本大学] 男子

氏名	学年	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
小林 隆	4	8.35	8.85	8.75	8.80	9.30	9.35	53.40
知念 孝	4	9.60	9.35	9.30	8.90	9.15	9.40	55.70
田村 真	3	9.35	8.80	9.45	8.90	8.00	8.95	53.45
石井宏樹	2	9.00	8.00	8.50	8.85	6.90	9.10	50.35
佐藤寿治	2	9.25	9.50	9.60	9.30	8.95	8.60	55.20
松永政行	1	8.95	8.95	9.10	9.00	9.25	9.20	54.45
ベスト5		46.15	45.45	46.20	44.95	44.65	46.00	273.40
平井良幸	4	9.40	8.35	7.85	8.70	7.80	8.80	50.90
長谷川靖	4	8.80	8.45	9.05	8.30	9.30	9.00	52.90
助信昌俊	3	8.60	7.20	8.65	8.45	8.50	8.20	49.60

[日本体育大学] 男子

氏名	学年	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
中村和雄	4	8.65	9.35	9.10	9.15	9.20	8.85	54.30
中村仁一	4	9.05	9.00	8.80	9.50	9.15	9.55	55.05
蒲生伸治	3	9.15	8.45	9.00	8.95	9.10	9.40	54.05
篠原秀幸	3	9.55	9.05	8.80	9.35	9.00	9.20	54.95
今西 慶	3	9.40	8.45	9.30	9.25	9.20	9.40	55.00
海野圭一	2	9.05	8.75	8.95	8.45	9.00	9.40	53.60
ベスト5		46.20	44.60	45.15	46.20	45.65	46.95	274.75
塚越 努	4	8.60	8.70	8.15	8.85	8.65	9.00	51.95
矢田 英	4	9.15	8.30	8.55	9.15	8.20	9.00	52.35
沢田健二	3	8.60	9.05	8.40	9.00	9.20	9.35	53.60

[筑波大学] 男子

氏名	学年	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
本多守政	4	9.60	9.30	9.40	9.35	8.70	9.50	55.85
大橋三十三	4	8.95	8.75	8.50	8.85	8.10	8.70	51.85
木下尚宏	3	9.20	9.05	9.30	9.10	8.90	8.80	54.35
後藤 豊	3	8.80	8.60	7.40	8.95	8.95	8.85	51.55
藤田幹則	2	9.35	8.65	8.30	9.05	9.00	9.00	53.35
渡辺 悟	2	8.70	8.50	8.75	9.00	8.65	8.25	51.85
ベスト5		45.90	44.35	44.25	45.45	44.20	44.85	269.00
内窪 誠	4	8.10	8.60	8.80	8.70	8.25	8.80	51.25
中屋敷朗	3	8.70	8.90	9.20	8.75	8.15	9.00	52.70
宮路親人	2	8.55	6.80	8.30	8.40	8.45	8.40	48.90

[団体総合]

1位	日本体育大学	274.75
2位	日本大学	273.40
3位	筑波大学	269.00
4位	順天堂大学	268.70
5位	東海大学	254.85
6位	仙台大学	244.20

[個人総合]

1位	本多守政 (筑波)	55.85
2位	知念 孝 (日大)	55.70
3位	佐藤寿治 (日大)	55.20
4位	中村仁一 (日体)	55.05
5位	今西 慶 (日体)	55.00
6位	篠原秀幸 (日体)	54.95

[種目別]



1位	本多守政
1位	知念 孝
3位	篠原秀幸
4位	平井良幸
6位	田村 真



1位	佐藤寿治
2位	知念 孝
2位	中村和雄



1位	佐藤寿治
2位	田村 真
3位	本多守政
4位	知念 孝



1位	中村仁一
2位	高橋 優
3位	本多守政
3位	篠原秀幸
5位	佐藤寿治



1位	三浦孝正
2位	高橋 優
2位	小林 隆
2位	長谷川靖
5位	松永政行



1位	中村仁一
2位	本多守政
3位	知念 孝
3位	今西 慶
3位	蒲生伸治
3位	海野圭一

[日本大学] 女子

[種目別]

氏名	学年	☒	☑	☒	■	合計
辻本容子	4	8.15	8.20	8.00	7.50	31.85
長澤郁子	3	8.50	8.90	8.20	7.95	33.55
中野久美	3	8.45	8.80	8.40	8.50	34.15
石山佳奈子	3	8.60	8.40	8.20	8.40	33.60
増田睦美	2	8.15	8.40	8.45	7.90	32.90
須田千絵	1	8.20	8.05	7.65	8.25	32.15
ベスト5		41.90	42.70	41.25	41.00	166.85
牧野さだ子	4	7.85	7.25	7.70	8.20	31.00
井上千代	3	8.25	8.25	7.15	8.15	31.80

☒	1位	森尾麻衣子
	2位	山中陽子
	3位	澤井美穂
	3位	近藤啓子
☑	1位	澤井美穂
	2位	山中陽子
	2位	武蔵智子
☒	1位	森尾麻衣子
	2位	山中陽子
	2位	澤井美穂
■	1位	山中陽子
	2位	森尾麻衣子
	3位	澤井美穂

[団体総合]

順位	団体名	☒	☑	☒	■	合計
1位	日本体育大学	45.60	46.80	44.25	45.80	182.45
2位	筑波大学	45.45	44.75	42.90	44.75	177.85
3位	東京女子体育大学	44.70	44.60	41.70	45.25	176.25
4位	東海大学	43.20	42.15	40.80	42.20	168.35
5位	日本大学	41.90	42.70	41.25	41.00	166.85
6位	日本女子体育大学	42.30	42.45	39.80	41.95	166.50

[個人総合]

1位	森尾麻衣子(日女体)	9.60	9.45	9.40	9.65	38.10
2位	山中陽子(日体大)	9.40	9.50	9.30	9.70	37.90
3位	澤井美穂(東女体)	9.35	9.55	9.30	9.40	37.60
4位	和田佐和子(日体大)	9.30	9.30	9.25	9.30	37.15
5位	青島加奈(筑波大)	9.25	9.25	8.60	9.10	36.20
6位	池尻恭子(筑波大)	9.20	9.30	8.45	9.10	36.05
7位	武蔵智子(日体大)	8.90	9.50	8.60	9.00	36.00
8位	本出理子(日体大)	8.90	9.30	9.15	8.40	35.75
9位	内藤いづみ(筑波大)	9.00	8.55	9.00	8.95	35.50
10位	伊藤信子(日体大)	9.00	8.80	9.10	8.60	35.50
11位	望月のり子(日女体)	8.50	9.05	8.70	9.15	35.40
12位	松浦奈穂子(東女体)	9.20	9.10	8.00	8.90	35.20

第27回NHK杯兼第24回オリンピック・ソウル大会日本代表決定競技会

昭和63年6月4、5日

鯖江市総合体育館

[男子個人総合]		■	⊠	⊡	⊢	⊣	□	合計	総計	
1位	西川大輔	規	9.40	9.65	9.30	9.15	9.25	9.55	56.30	
	(清風高)	自	9.50	9.70	9.40	9.25	9.50	9.70	57.05	113.35
2位	水島宏一	規	9.40	9.65	9.25	9.35	9.55	9.65	56.85	
	(日大桜)	自	9.30	9.60	9.25	9.20	9.60	8.95	55.90	112.75
2位	池谷幸雄	規	9.50	9.60	9.40	9.35	9.15	9.00	56.00	
	(清風高)	自	9.65	9.60	9.55	9.30	9.50	9.15	56.75	112.75
4位	佐藤寿治	規	9.45	9.65	9.40	9.40	9.60	9.60	57.10	
	(日大)	自	8.60	9.70	9.45	9.30	8.80	9.50	55.35	112.45
5位	小西裕之	規	9.35	9.50	9.35	9.40	9.45	9.40	56.45	
	(紀陽銀)	自	8.95	9.30	9.25	9.35	9.25	9.40	55.50	111.95
6位	本多守政	規	9.35	9.20	9.10	9.45	9.10	9.50	55.70	
	(筑波大)	自	9.60	8.70	9.50	9.35	9.45	9.60	56.20	111.90
7位	山田隆弘	規	9.45	9.25	9.30	9.30	9.40	9.45	56.15	
	(大和銀)	自	8.90	9.55	9.45	8.70	9.25	9.45	55.30	111.45

11位	峯田孝幸	規	9.20	9.30	9.40	9.10	9.20	9.45	55.65	
	(大和銀)	自	9.05	9.40	9.00	8.75	9.40	9.35	54.95	110.60
12位	渡辺光昭	規	9.20	8.80	9.05	9.35	9.25	9.45	55.10	
	(大和銀)	自	9.15	9.00	9.20	9.40	8.90	9.50	55.15	110.25
16位	知念 孝	規	9.15	9.40	9.20	9.30	9.00	8.15	54.20	
	(日大)	自	9.10	9.50	9.30	8.95	8.80	9.30	54.95	109.15
19位	長谷川靖	規	9.10	8.90	9.30	9.20	8.90	9.25	54.65	
	(日大)	自	9.00	8.80	9.35	8.80	8.55	8.50	53.00	107.65

[持点あり順位]

1位	西川大輔	169.675
2位	池谷幸雄	168.575
3位	水島宏一	168.275
4位	佐藤寿治	168.175
5位	山田隆弘	167.500
6位	小西裕之	166.950
6位	本多守政	166.950

〔女子個人総合〕			☒	☑	☐	■	合計	総計	持点計
1位	信田美帆	規	9.40	9.75	9.80	9.65	38.60		
	(朝日生ク)	自	9.75	9.35	9.60	9.70	38.400	77.000	114.825
2位	真田マキ子	規	9.80	9.40	9.60	9.70	38.50		
	(朝日生ク)	自	9.775	9.35	9.60	9.20	37.925	76.425	114.425
3位	瀬尾京子	規	9.50	9.70	9.25	9.25	37.70		
	(朝日生ク)	自	9.575	9.80	9.50	9.60	38.475	76.175	114.013
4位	森村幸子	規	9.35	9.50	9.50	9.50	37.85		
	(朝日生ク)	自	9.40	9.40	9.45	9.45	37.700	75.550	112.963
5位	小菅麻里	規	9.70	8.65	9.20	9.10	36.65		
	(朝日生ク)	自	9.775	9.20	9.60	9.60	38.175	74.825	-----
6位	七原由理子	規	9.55	9.25	8.90	9.30	37.00		
	(西山ク)	自	9.625	9.10	9.45	9.25	37.425	74.425	111.388
7位	森尾麻衣子	規	9.30	9.25	9.35	9.20	37.10		
	(日女体)	自	9.40	9.35	9.25	9.20	37.200	74.300	111.163
8位	望月のり子	規	9.30	9.10	9.40	9.40	37.20		
	(日女体)	自	9.275	9.25	9.40	9.10	37.025	74.225	110.400
9位	森美恵子	規	9.45	9.80	9.20	9.30	37.75		
	(朝日生命)	自	9.25	9.15	9.50	8.55	36.450	74.200	111.850
10位	井上麻子	規	9.15	9.40	9.70	9.15	37.40		
	(朝日生ク)	自	9.025	9.55	9.05	8.50	36.125	73.525	110.938
11位	三澤いずみ	規	9.20	9.20	8.95	9.15	36.50		
	(朝日生ク)	自	8.875	9.40	9.40	8.80	36.475	72.975	109.388
12位	三浦華子	規	9.25	8.75	9.15	9.05	36.20		
	(朝日生ク)	自	9.025	9.35	9.35	8.20	35.925	72.125	-----
13位	伊藤佐喜子	規	8.90	8.85	9.25	9.00	36.00		
	(朝日生ク)	自	9.55	9.00	8.50	8.95	36.000	72.000	108.088
14位	上野あゆみ	規	9.20	8.65	9.10	8.95	35.90		
	(戸田スポ)	自	9.40	8.65	8.85	9.00	35.900	71.800	107.738
15位	高倉亜樹	規	8.95	8.55	9.20	8.80	35.50		
	(品川ク)	自	9.125	8.85	9.00	9.30	36.275	71.775	106.988
16位	山中陽子	規	9.25	9.00	9.20	9.00	36.45		
	(日体大)	自	9.025	8.25	8.60	9.30	35.175	71.625	107.038
17位	小沢梨恵	規	8.90	8.85	8.75	8.95	35.45		
	(藤本体ク)	自	8.75	8.70	9.25	9.25	35.950	71.400	106.588
18位	金谷麻理子	規	9.35	8.75	8.20	9.05	35.35		
	(大昭和ア)	自	9.30	9.20	9.25	8.20	35.950	71.300	106.338

第42回全日本学生選手権大会

昭和63年8月6～9日

春日井市総合体育館

[日本大学] 男子 競技 I a b

氏名	学年		■	⊠	⊞	⊟	⊡	□	合計	総計
小林 隆	4	規	8.95	8.45	9.00	9.05	8.75	9.15	53.35	
		自	9.00	9.05	9.20	8.95	8.95	9.40	54.55	107.90
知念 孝	4	規	9.15	9.25	9.15	9.20	8.85	9.45	55.05	
		自	8.70	9.20	9.30	9.10	9.35	9.35	55.00	110.05
長谷川靖	4	規	9.00	8.60	9.25	9.25	9.15	8.95	54.20	
		自	8.80	8.55	9.55	9.15	9.55	9.20	54.80	109.00
田村 真	3	規	9.10	9.40	9.45	9.25	8.90	9.40	55.50	
		自	9.30	9.20	9.55	9.10	9.20	9.00	55.35	110.85
佐藤寿治	2	規	9.40	9.55	9.30	9.50	9.60	9.45	56.80	
		自	9.20	9.70	9.70	9.35	9.15	8.95	56.05	112.85
松永政行	1	規	8.55	9.35	8.95	9.30	8.90	9.20	54.25	
		自	9.00	8.80	9.30	8.85	9.25	9.35	54.55	108.80
ベスト5		規	45.60	46.15	46.15	46.50	45.40	46.65	276.45	
		自	45.30	45.95	47.40	45.65	46.50	46.30	277.10	
合計			90.90	92.10	93.55	92.15	91.90	92.95		553.55
平井良幸	4	規	7.95	6.45	8.40	9.15	7.85	8.75	48.55	
		自	9.00	8.50	8.45	8.80	7.70	8.45	50.90	99.45
井本吉彦	3	規	8.00	8.50	9.20	9.00	9.15	9.15	53.00	
		自	8.70	8.85	9.20	8.70	9.00	9.40	53.85	106.85
藤井千法	3	規	5.65	8.45	8.40	7.80	8.25	8.60	47.15	
		自	キッ	8.85	7.85	キッ	7.55	7.70	31.95	79.10
石井宏樹	2	規	8.40	7.85	8.25	9.20	8.95	9.20	51.85	
		自	8.45	8.40	8.50	8.80	8.55	8.60	51.30	103.15

[日本体育大学] 男子 競技 I a b

氏 名 学年		■	⊗	⊗	⊗	⊗	□	合計	総計
中村仁一 4	規	9.25	7.85	9.00	9.25	9.10	9.30	53.75	
	自	9.40	9.60	8.85	9.35	9.40	8.80	55.40	109.15
沢田健二 3	規	8.45	9.25	8.10	9.25	8.60	9.40	53.05	
	自	8.95	8.95	9.30	9.00	8.85	8.30	53.35	106.40
蒲生伸治 3	規	9.30	9.15	8.80	9.35	9.40	9.50	55.50	
	自	9.35	9.20	8.90	9.15	9.15	9.30	55.05	110.55
今西 慶 3	規	8.85	9.20	9.15	8.00	8.00	8.90	52.10	
	自	9.00	9.20	9.15	9.50	9.25	9.45	55.55	107.65
篠原秀幸 3	規	8.95	9.05	8.90	9.05	9.30	9.30	54.55	
	自	9.60	9.05	9.00	9.30	9.15	9.20	55.30	109.85
海野圭一 2	規	9.10	9.15	9.20	9.10	8.00	8.75	53.30	
	自	8.70	9.40	9.35	8.80	8.80	9.05	54.10	107.40
ベスト5 ベスト5 合計	規	45.45	45.80	45.05	46.00	44.40	46.40	273.10	
	自	46.30	46.45	45.70	46.30	45.80	45.80	276.35	
		91.75	92.25	90.75	92.30	90.20	92.20		549.45
石井弘一 4	規	8.50	9.05	8.95	8.55	8.30	8.50	51.85	
	自	8.60	9.30	8.95	8.60	8.40	8.90	52.75	104.60
矢田 英 4	規	8.70	7.35	8.15	8.80	6.05	8.40	47.45	
	自	9.25	7.60	7.75	9.00	8.50	8.80	50.90	98.35
太田裕久 3	規	8.70	8.60	8.15	9.00	5.30	8.40	48.15	
	自	8.70	8.25	8.25	8.75	8.90	8.75	51.60	99.75
川腰 健 3	規	8.45	7.25	8.20	9.00	8.65	7.95	49.50	
	自	8.85	8.50	8.60	9.05	7.70	9.10	51.80	101.30

[筑波大学] 男子 競技 I a b

氏名	学年		■	⊗	⊘	⊙	□	合計	総計	
本多守政	4	規	9.25	9.30	8.70	9.25	8.30	8.15	52.95	
		自	9.50	9.60	9.55	9.40	9.40	9.65	57.10	110.05
内窪 誠	4	規	9.30	8.10	8.20	9.15	8.70	8.45	51.90	
		自	9.20	9.15	8.80	9.00	8.60	9.05	53.80	105.70
大橋三十三	4	規	9.00	8.30	9.00	8.65	8.55	8.55	52.05	
		自	9.05	8.90	8.85	9.10	8.40	8.45	52.75	104.80
木下尚宏	3	規	9.20	9.00	9.10	9.15	8.80	8.85	54.10	
		自	9.40	9.15	9.35	8.90	9.20	9.30	55.30	109.40
中屋敷朗	3	規	8.60	9.40	9.30	8.80	8.70	9.30	54.10	
		自	9.10	9.50	9.55	8.90	9.00	9.20	55.25	109.35
藤田幹則	2	規	9.35	9.25	8.15	9.30	8.85	9.00	53.90	
		自	9.20	9.35	9.10	9.10	9.05	8.90	54.70	108.60
ベスト5		規	46.10	45.25	44.30	45.65	43.60	44.15	269.40	
ベスト5		自	46.40	46.75	46.40	45.50	45.25	46.10	276.40	
合計			92.50	92.00	90.70	91.15	88.85	90.25		545.45
後藤 豊	3	規	8.45	8.60	7.75	9.10	8.40	7.85	50.15	
		自	9.00	8.95	7.95	8.85	8.70	8.75	52.20	102.35
渡辺 悟	2	規	8.45	8.55	8.05	8.80	7.10	7.60	48.55	
		自	9.40	8.30	8.85	9.40	8.75	8.95	53.65	102.20
宮路親人	2	規	7.80	6.85	7.80	8.70	7.60	8.35	47.10	
		自	8.90	6.80	8.35	8.00	8.40	8.35	48.80	95.90
田中富士雄	1	規	8.25	7.85	7.70	8.25	7.50	8.75	48.30	
		自	8.55	8.20	8.15	8.50	8.15	8.40	49.95	98.25

[団体総合]	規定	自由	合計	点差	1位との差
1位 日本大学	276.45	277.10	553.55		
2位 日本体育大学	273.10	276.35	549.45	4.10	4.10
3位 筑波大学	269.05	276.40	545.45	4.00	8.10
4位 順天堂大学	262.70	271.65	534.35	11.10	19.20
5位 福岡大学	252.65	260.90	513.55	20.80	40.00
6位 東海大学	245.40	258.55	503.95	9.60	49.60

[日本大学] 女子 競技 I a b

氏名	学年		☒	☑	☒	☑	合計	総計
辻本容子	4	規	8.55	8.35	8.15	8.40	33.45	
		自	8.45	8.45	8.25	7.80	32.95	66.40
中野久美	3	規	8.60	9.00	8.55	8.00	34.15	
		自	8.35	8.95	8.25	8.35	33.90	68.05
長澤郁子	3	規	8.90	9.20	8.25	8.45	34.80	
		自	8.70	9.00	8.15	7.30	33.15	67.95
石山佳奈子	3	規	8.80	7.60	6.50	8.35	31.25	
		自	8.40	8.10	7.95	8.00	32.45	63.70
松本ますみ	3	規	8.60	8.10	7.40	7.25	31.35	
		自	7.95	8.75	7.80	7.50	32.00	63.35
増田睦美	2	規	8.45	8.00	6.50	6.70	29.65	
		自	7.95	8.40	7.85	8.15	32.35	62.00
ベスト5		規	43.45	42.65	38.85	40.45	165.40	
ベスト5		自	41.85	43.55	40.45	39.80	165.65	
合計			85.30	86.20	79.30	80.25		331.05
牧野さだ子	4	規	8.90	7.45	7.65	8.55	32.55	
		自	7.45	7.75	7.20	8.70	31.10	63.65
川崎聖子	1	規	8.35	7.10	7.80	7.40	30.65	
		自	8.20	6.95	7.75	7.90	30.80	61.45
須田千絵	1	規	8.80	5.90	7.35	7.75	29.80	
		自	8.25	7.95	8.40	8.25	32.85	62.65

[団体総合]		☒	☑	☒	☑	総計				
		規定	自由	規定	自由	規定	自由			
1位	日体大	44.85	45.35	45.75	45.90	43.00	45.50	44.25	44.35	358.95
2位	筑波大	45.40	46.00	44.20	45.20	44.30	44.95	44.90	43.90	358.85
3位	東女体	44.05	45.55	43.05	45.60	44.40	43.25	43.45	43.75	353.10
4位	日女体	45.10	44.25	41.30	43.45	40.35	42.00	42.10	43.90	342.45
5位	東海大	43.80	42.25	40.50	41.55	41.00	40.90	41.45	41.65	333.10
6位	日大	43.45	41.85	42.65	43.55	38.85	40.45	40.45	39.80	331.05

「男子個人総合・種目別」競技Ⅲ

	所属	■	☒	☒	☒	☒	☒	合計	総計
1	佐藤寿治 日大2年	9.40	9.70	9.70	8.900	9.45	9.25	56.400	112.825
2	本多守政 筑波4年	9.50	9.55	9.40	9.250	9.30	9.50	56.500	111.525
3	田村 真 日大3年	9.20	9.15	9.50	8.900	9.45	9.10	55.300	110.725
4	中村仁一 日体4年	9.45	9.60	8.70	8.900	9.45	9.75	55.850	110.425
5	蒲生伸治 日体3年	9.40	9.15	9.00	9.050	9.10	9.20	54.900	110.175
6	知念 孝 日大4年	8.90	9.25	9.50	8.700	9.20	9.40	54.950	109.975
7	中屋敷朗 筑波3年	9.20	9.35	9.45	8.800	8.85	9.50	55.150	109.825
8	木下尚宏 筑波3年	9.50	9.00	9.35	8.850	9.10	9.20	55.000	109.700
9	篠原秀幸 日体3年	9.15	9.20	9.20	9.075	9.15	8.70	54.475	109.400
10	松永政行 日大1年	9.10	9.25	9.25	8.600	9.50	9.20	54.900	109.300
11	三浦孝正 順大4年	8.95	9.20	8.80	8.975	9.50	9.10	54.525	108.300
12	藤田幹則 筑波2年	9.10	9.15	8.80	8.850	9.40	8.65	53.950	108.250
13	今西 慶 日体3年	9.00	8.15	9.35	9.275	9.15	9.30	54.225	108.050
14	小林 隆 日大4年	8.70	8.80	9.30	8.775	9.10	9.40	54.075	108.025
15	長谷川靖 日大4年	8.35	8.15	9.45	9.025	9.00	9.30	53.275	107.775
16	沢田健二 日体3年	8.70	8.85	9.20	8.850	9.35	9.45	54.400	107.600
17	海野圭一 日体2年	8.95	9.25	9.30	8.325	8.60	9.25	53.675	107.375
18	宮本真二 順大4年	9.05	9.10	8.75	8.850	9.00	8.50	53.250	106.475
19	井本吉彦 日大3年	8.45	8.20	9.20	8.750	8.55	9.35	52.500	105.925
20	工藤英樹 順大2年	9.15	8.95	8.85	8.525	8.45	9.10	53.025	105.100
.
33	石井宏樹 日大2年	8.95	8.45	8.50	8.350	7.20	9.35	50.800	102.375



- 1位 本多守政
- 2位 木下尚宏
- 3位 中村仁一
- .
- 5位 佐藤寿治



- 1位 佐藤寿治
- 2位 本多守政
- 3位 中屋敷朗
- .
- 6位 知念 孝



- 1位 佐藤寿治
- 2位 田村 真
- 3位 中屋敷朗
- .
- 4位 長谷川靖
- 5位 知念 孝



- 1位 本多守政
- 2位 佐藤寿治
- 3位 蒲生伸治
- .
- 5位 長谷川靖



- 1位 佐藤寿治
- 2位 中村仁一
- 3位 三浦孝正
- .
- 4位 松永政行
- 5位 田村 真



- 1位 中村仁一
- 1位 知念 孝
- 3位 中屋敷朗
- .
- 4位 小林 隆
- 5位 井本吉彦

「女子個人総合・種目別」競技Ⅲ

	所属	🏊	🏊	🏊	🏊	合計	総計	
1	望月のり子	日女3年	9.600	9.70	9.35	9.40	38.050	75.675
2	森尾麻衣子	日女4年	9.275	9.60	8.95	9.50	37.325	74.550
3	澤井美穂	東女2年	9.150	9.45	8.80	9.10	36.500	72.850
4	池尻恭子	筑波3年	9.025	9.00	9.00	9.00	36.025	72.375
5	武蔵智子	日体2年	9.100	8.95	9.10	9.20	36.350	72.175
6	松浦奈穂子	東女3年	9.425	9.10	8.10	8.95	35.575	71.850
7	青島加奈	筑波1年	8.975	9.15	8.05	9.10	35.275	71.200
8	小林実紀	筑波4年	8.325	8.20	9.30	8.60	34.425	70.975
9	本出理子	日体1年	8.725	9.20	8.15	9.00	35.075	70.700
10	和田佐和子	日体1年	8.625	9.10	8.95	9.00	35.675	70.650
11	中村静佳	日体2年	8.975	9.05	8.60	8.30	34.925	69.775
12	安田恵美	日体4年	8.300	8.75	7.60	9.15	33.800	69.550
13	内藤いずみ	筑波3年	8.650	7.80	9.05	8.90	34.400	69.175
14	棚橋賜穂子	日体1年	8.625	8.70	8.70	8.95	34.975	69.100
15	久保田美紀	東女4年	8.675	8.55	7.75	9.00	33.975	68.700
16	向後美佐	東女1年	8.450	8.30	8.60	8.55	33.900	67.975
17	和田佳子	東女2年	8.100	8.80	8.05	8.70	33.650	67.850
18	早川砂織	日体1年	8.725	9.00	7.70	8.40	33.825	67.800
18	平野裕子	筑波1年	8.775	8.75	8.05	7.60	33.175	67.800
20	長谷部晶	筑波3年	8.175	9.15	8.40	7.90	33.625	67.775
.								
24	中野久美	日大3年	7.975	7.65	6.95	7.60	30.175	64.200



- 1位 望月のり子
2位 松浦奈穂子
3位 森尾麻衣子



- 1位 望月のり子
2位 森尾麻衣子
3位 澤井美穂



- 1位 望月のり子
2位 小林実紀
3位 内藤いずみ



- 1位 森尾麻衣子
2位 望月のり子
3位 武蔵智子

第24回オリンピック・ソウル大会

昭和63年9月18日～25日

団体総合 男子 競技I a b

氏名	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計	総計	
小西裕之	規	9.60	9.65	9.70	9.55	9.60	9.70	57.80	
	自	9.60	9.90	9.60	9.60	9.70	9.60	58.00	115.80
山田隆弘	規	9.70	9.55	9.70	9.40	9.75	9.60	57.70	
	自	9.30	9.75	9.65	9.60	9.75	9.65	57.70	115.40
水島宏一	規	9.80	9.90	9.65	9.70	9.70	9.85	58.60	
	自	9.75	10.00	9.80	9.65	9.90	9.75	58.85	117.45
佐藤寿治	規	9.70	9.75	9.75	9.70	9.80	9.80	58.50	
	自	9.75	9.90	9.80	9.80	9.65	9.25	58.15	116.65
西川大輔	規	9.70	9.80	9.75	9.75	9.75	9.80	58.55	
	自	9.75	10.00	9.70	9.65	9.75	9.85	58.70	117.25
池谷幸雄	規	9.90	9.70	9.80	9.90	9.70	9.90	58.90	
	自	9.90	9.80	9.75	9.75	9.80	9.75	58.75	117.65
ベスト5	規	48.80	48.80	48.70	48.60	48.70	49.05	292.65	
ベスト5	自	48.75	49.60	48.70	48.30	49.00	48.60	292.95	
合計		92.50	92.00	90.70	91.15	88.85	90.25		585.60

[団体総合]	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計	総計	
1位 ソ連	規	49.50	49.15	49.45	49.20	49.40	49.05	295.70	
	自	49.55	49.75	49.65	49.30	49.75	49.65	297.65	593.35
2位 東ドイツ	規	49.10	48.60	49.10	48.90	49.25	48.60	293.45	
	自	48.75	49.20	49.35	49.20	49.25	49.25	295.00	588.45
3位 日本	規定	292.65		自由	292.95			585.60	
4位 中国	規	48.90	48.05	48.75	48.50	48.15	49.05	291.40	
	自	49.40	48.60	49.35	48.80	49.00	48.70	293.85	585.25
5位 ブルガリア	規	48.65	48.55	48.85	48.30	48.50	48.40	291.25	
	自	48.80	49.35	49.30	48.60	49.35	48.45	293.85	585.10
6位 ハンガリー	規定	291.00		自由	291.30			582.30	
7位 ルーマニア	規定	290.50		自由	291.20			581.70	
8位 イタリア	規定	288.80		自由	290.20			579.00	

〔個人総合〕 男子 競技Ⅱ

		所属	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計	持点計
1位	V. アルチモフ	ソ連	9.90	9.90	9.90	9.95	10.00	10.00	59.65	119.125
2位	V. リューキン	ソ連	9.90	9.95	9.95	9.90	9.90	10.00	59.60	119.025
3位	D. ヒーロゼ・ルチェフ	ソ連	9.90	10.00	10.00	10.00	9.95	9.90	59.75	118.975
4位	S. チェルト	東独	9.80	9.95	9.95	9.90	9.80	9.80	59.20	118.000
5位	M. ゲルマン	ルー	9.80	9.90	9.85	9.80	9.80	9.90	59.05	117.825
6位	K. フリストゾフ	ブル	9.80	9.90	9.90	9.65	9.85	9.80	58.90	117.750
6位	王崇升	中国	9.75	9.90	9.85	9.90	9.85	9.90	59.15	117.750
8位	G. グツォキナー	ハン	9.75	10.00	9.90	9.80	9.80	9.80	59.05	117.675
8位	池谷幸雄	日本	9.95	9.80	9.75	9.65	9.90	9.80	58.85	117.675
10位	S. クロル	東独	9.90	10.00	9.85	9.65	9.90	9.40	58.70	117.625
10位	水島宏一	日本	9.80	9.80	9.90	9.65	9.85	9.90	58.90	117.625
12位	楼雲	中国	9.90	9.90	9.90	9.70	9.90	9.75	59.05	117.600
13位	西川大輔	日本	9.85	9.90	9.80	9.45	9.90	9.90	58.80	117.425

種目別 男子 競技Ⅲ

■		⊗		⊘	
1位	ハリコフ 9.975	1位	ケラスコフ 10.00	1位	ペーレント 9.975
2位	アルチモフ 9.950	1位	ホルカイ 10.00	1位	ヒーロゼ・ルチェフ 9.950
3位	楼雲 9.900	1位	ヒーロゼ・ルチェフ 10.00	3位	チェルト 9.950
3位	池谷 9.950	4位	水島 9.95	4位	フリストゾフ 9.925
5位	李寧 9.875	5位	リューキン 9.95	4位	リューキン 9.900
6位	プレティ 9.875	6位	西川 9.95	6位	楼雲 9.950
7位	フリストゾフ 9.850	7位	チェルト 9.95	6位	チャーチ 9.950
8位	ヒバート 9.650	8位	クロル 9.90	8位	グツォキナー 9.825

⊙		⊚		□	
1位	楼雲 9.950	1位	アルチモフ 9.950	1位	アルチモフ 9.950
2位	クロル 9.962	2位	リューキン 9.950	1位	リューキン 9.975
3位	朴鍾勛 9.975	3位	チェルト 9.900	3位	ペーレント 9.950
4位	コレフ 9.912	4位	フリストゾフ 9.850	3位	ゲルマン 9.950
5位	ペーレント 9.800	5位	ゲルマン 9.850	5位	王崇升 9.900
6位	ハリコフ 9.700	6位	ヒバート 9.825	6位	許志強 9.850
7位	池谷 9.700	7位	クロル 9.750	7位	ヒバート 9.825
8位	ゴゴラゼ 9.637	8位	プレティ 9.750	8位	ヘッカー 9.650

[団体総合] 女子		🇺🇸	🇷🇺	🇯🇵	🇪🇺	合計	総計
1位 ソ連	規	49.475	49.350	49.250	49.250	197.325	
	自	49.675	49.575	49.500	49.400	198.150	395.475
2位 ルーマニア	規	48.900	49.000	49.175	49.350	196.425	
	自	49.625	49.350	49.550	49.175	197.700	394.125
3位 東ドイツ	規	48.525	49.200	48.700	49.000	195.425	
	自	49.250	49.325	47.900	48.975	195.450	390.875
4位 アメリカ	規	48.600	48.125	48.650	49.075	194.450	
	自	49.025	49.225	48.900	48.975	196.125	390.575

		🇺🇸	🇷🇺	🇯🇵	🇪🇺	合計	総計
信田 美帆	規	9.350	9.550	9.575	9.325	37.800	
	自	9.675	9.750	9.675	9.550	38.650	76.450
森 美恵子	規	9.400	9.475	9.500	9.575	37.950	
	自	9.375	9.700	9.475	9.475	38.025	75.975
森尾麻衣子	規	9.250	9.550	9.525	9.550	37.875	
	自	9.425	9.650	9.500	9.425	38.000	75.875
七原由理子	規	9.350	9.525	9.500	9.400	37.775	
	自	9.475	9.500	9.225	9.650	37.850	75.625
森村 幸子	規	9.375	9.325	9.450	9.275	37.425	
	自	9.500	9.650	9.425	9.575	38.150	75.575
真田マキ子	規	9.425	9.350	9.450	9.500	37.725	
	自	9.525	9.625	8.700	9.250	37.100	74.825
12位 日本	規	46.900	47.450	47.550	47.350	189.250	
	自	47.600	48.375	47.300	47.675	190.950	380.200

[個人総合] 女子 競技II

	所属	🇺🇸	🇷🇺	🇯🇵	🇪🇺	合計	持点計
1位 シュシュワ	ソ連	10.000	9.900	9.925	10.000	39.825	79.662
2位 シリハス	ルーマニア	9.950	10.000	9.900	10.000	39.850	79.637
3位 ホッキンスカヤ	ソ連	9.950	9.950	9.900	9.900	39.700	79.400
34位 信田美帆	日本	9.750	9.625	9.125	9.750	38.250	76.475

[種目別]

🇺🇸	🇷🇺	🇯🇵	🇪🇺
1 ホッキンスカヤ 9.968	1 シリハス 10.00	1 シリハス 9.987	1 シリハス 9.987
2 シリハス 9.943	2 ケルステン 10.00	2 シュシュワ 9.950	2 ホッキンスカヤ 9.975
3 ホトラック 9.918	3 シュシュワ 10.00	3 ミルス 9.962	3 トウデハ 9.950
		3 ホトラック 9.950	

関東学生新人体操競技選手権大会

昭和63年10月2日

大和スポーツセンター

〔日本大学〕 男子

氏名	学年	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
徳江和則	2	9.25	7.80	8.70	8.70	8.40	8.90	51.75
藤原由文	2	8.20	8.50	8.40	8.10	8.35	9.05	50.60
竹田盛勝	1	9.35	9.30	8.15	9.30	9.10	9.20	54.40
松永政行	1	9.35	9.50	9.35	9.10	9.55	9.20	56.05
平井博之	1	8.70	9.15	8.60	8.90	8.60	8.90	52.85
三富洋昭	1	9.00	8.15	8.65	7.80	8.65	8.15	50.40
ベスト5		45.65	44.60	43.70	44.10	44.30	45.25	267.60
佐藤 徹	3	7.85	7.55	7.60	8.55	7.65	7.10	46.30
喜多川和也	2	7.30	8.05	6.60	8.30	8.10	7.45	45.80
山本昭二郎	1	8.30	8.70	7.90	7.75	8.60	8.30	49.55
橋本和雄	1	7.85	8.50	8.25	8.30	8.55	7.35	48.80

〔日本体育大学〕 男子

氏名	学年	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
加瀬友紀仁	3	7.50	9.40	9.10	7.85	8.95	9.30	52.10
深田將宏	2	8.55	9.30	8.50	8.95	8.30	9.40	53.00
山口洋一	2	8.45	9.00	8.70	8.30	8.80	9.20	52.45
岩松昭雄	1	9.40	8.80	9.00	7.65	9.40	9.65	53.90
三木貴裕	1	9.25	8.80	9.05	9.25	9.10	9.05	54.50
福永光一	1	9.10	8.85	8.80	9.05	8.60	8.10	52.50
ベスト5		44.75	45.35	44.65	43.40	44.85	46.60	269.60
大久保和生	1	8.45	8.85	8.60	9.15	8.50	7.25	50.80
木下裕一	1	7.90	8.25	8.65	8.60	8.25	8.85	50.50
空中通浩	1	8.90	8.90	8.10	8.70	8.35	8.75	51.70

[順天堂大学] 男子

氏名	学年	■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
西村克彦	2	キッソ	キッソ	8.35	キッソ	7.15	8.15	23.65
蓮見 仁	2	8.25	7.35	6.45	8.30	6.50	8.20	45.05
下村健一	1	8.65	8.95	8.55	8.45	8.85	9.20	52.65
田野辺満	1	7.90	9.05	8.65	8.70	7.70	9.05	51.05
徳永 聡	1	8.35	8.70	8.40	8.30	8.15	8.15	50.05
梅木規孝	1	8.50	7.90	8.55	8.55	7.95	7.15	48.60
ベスト5		41.65	41.95	42.50	42.30	39.80	42.75	250.95

[団体総合]

1位	日本体育大学	269.60
2位	日本大学	267.60
3位	順天堂大学	250.95
4位	東海大学	246.40
5位	国士舘大学	236.65
6位	国際武道大学	234.25

[個人総合]

1位	松永政行 (日大)	56.05
2位	三木貴裕 (日体)	54.50
3位	竹田盛勝 (日大)	54.40
4位	岩松昭雄 (日体)	53.90
5位	深田將宏 (日体)	53.00
6位	平井博之 (日大)	52.85

[種目別]

■

1位	岩松昭雄
2位	松永政行
2位	竹田盛勝
4位	三木貴裕
4位	徳江和則
6位	福永光一

⊙

1位	香取政文 (国士)
1位	竹田盛勝
3位	三木貴裕
4位	大久保和生
5位	松永政行
6位	福永光一

⊗

1位	松永政行
2位	加瀬友紀仁
3位	竹田盛勝
4位	深田將宏
5位	平井博之
6位	田野辺満 (順大)

⊚

1位	松永政行
2位	岩松昭雄
3位	三木貴裕
3位	竹田盛勝
5位	加瀬友紀仁
6位	下村健一 (順大)

⊘

1位	松永政行
2位	加瀬友紀仁
3位	三木貴裕
4位	岩松昭雄
5位	谷山裕介 (東海)
6位	福永光一

□

1位	岩松昭雄
2位	深田將宏
3位	加瀬友紀仁
4位	松永政行
4位	竹田盛勝
4位	下村健一
4位	山口洋一

[日本大学] 女子

氏 名 学年	☒	☑	☐	■	合 計
岡 美奈 2	8.55	8.00	7.20	7.80	31.55
橋尾里華 1	8.70	8.00	7.55	8.45	32.70
川崎聖子 1	8.30	8.20	8.05	8.50	33.05
須田千絵 1	8.35	7.90	8.60	8.45	33.30
豊田麻規子 1	8.65	8.50	8.15	8.90	34.20
平野真由美 1	8.30	7.95	7.95	8.70	32.90
ベスト5	42.55	40.65	40.30	43.00	166.50
野平悦子 2	8.15	7.90	6.90	7.20	30.15
明石美也子 1	7.30	6.50	7.25	7.30	28.35

[団体総合]

1位	日体大	180.05
2位	東女体	166.75
3位	日大	166.50
4位	日女体	156.80

[個人総合]

1位	山中陽子 (日体)	37.90
2位	棚橋賜穂子 (日体)	36.35
3位	早川砂織 (日体)	36.00
4位	三好朋友 (日体)	35.05
5位	福田享子 (日体)	34.75
6位	福嶋 薫 (東女)	34.55

[種目別]



1位	山中陽子
2位	棚橋賜穂子
2位	西澤洋子 (東女)
4位	早川砂織
4位	福田享子
6位	橋尾里華



1位	山中陽子
2位	三好朋友
3位	棚橋賜穂子
4位	福嶋 薫
5位	早川砂織
6位	荒生朱美 (東女)
6位	大鷹てるみ (日体)



1位	山中陽子
2位	早川砂織
3位	荒生朱美
4位	棚橋賜穂子
4位	竹中美佐子 (日女)
5位	三好朋友
5位	福嶋 薫



1位	山中陽子
2位	棚橋賜穂子
3位	早川砂織
3位	豊田麻規子
5位	福田享子
6位	平野真由美

第43回国民体育大会

昭和63年10月16日～19日

向日市民体育館

[個人総合] 成年：男子1部

			■	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	合計
1	早瀬幸博	静岡 23期	9.30	9.40	9.70	9.55	9.75	9.40	57.10
2	寺尾直之	静岡	9.50	9.20	9.65	9.30	9.65	9.65	56.95
3	河相公一	京	9.20	9.50	9.50	9.10	9.45	9.45	56.20
4	松永政行	沖縄 1年	9.00	9.45	9.40	9.30	9.45	9.55	56.15
5	石井宏樹	群馬 2年	9.30	9.20	9.00	9.35	9.45	9.80	56.10
6	知念 孝	沖縄 4年	9.20	9.40	9.30	9.05	9.60	9.50	56.05
6	金本 誠	静岡	8.90	9.30	9.25	9.30	9.70	9.60	56.05
8	岩松昭雄	埼玉	9.20	9.05	9.25	9.25	9.40	9.80	55.95
9	本多守政	神	9.55	9.10	9.40	9.50	8.70	9.60	55.85
10	杉山晋一	京	9.45	9.45	9.10	9.40	9.25	9.10	55.75
17	長谷川靖	神 4年	9.45	8.30	9.50	9.10	9.15	9.40	54.90
22	金野 東	秋 3年	9.30	9.30	8.65	9.10	8.65	9.45	54.45
24	小林 隆	神 4年	8.25	8.90	9.25	9.10	9.35	9.50	54.35
30	平井良幸	岡 4年	9.40	8.80	8.85	8.60	9.05	9.00	53.70
30	大塚孝幸	秋 2年	9.25	8.75	8.80	9.15	8.45	9.30	53.70
53	安里順一	沖縄 26期	9.20	8.10	7.85	8.30	8.35	9.00	50.80
・	助信昌俊	広 3年	8.90	7.75	8.60	8.95	8.35	7.75	50.30
・	小比類巻英夫	青 29期	8.85	6.30	8.55	9.15	8.60	8.00	49.45

[団体総合] 成年：男子1部

		■	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	合計
1位	静岡	28.40	27.90	28.80	28.25	29.10	28.65	171.10
2位	京都	27.80	28.35	28.20	27.55	28.05	27.80	167.75
3位	群馬	28.15	27.65	26.65	27.85	28.30	28.15	166.75
4位	埼玉	27.65	28.15	27.85	27.45	27.55	27.90	166.55
5位	神奈川	28.25	26.30	28.15	27.70	27.20	28.50	166.10
6位	和歌山	27.40	26.85	27.70	27.40	27.75	28.75	165.85
7位	神縄	27.40	26.95	27.00	26.75	27.40	28.05	163.55
8位	北海道	26.50	27.05	27.30	26.90	27.20	27.70	162.65

[個人総合] 成年：男子2部

			■	⊠	⊡	⊢	⊣	□	合計
1	中屋敷朗	京	9.30	9.40	9.70	9.55	9.75	9.40	57.10
2	千代恭司	京 26期	9.50	9.20	9.65	9.30	9.65	9.65	56.95
3	宮本真二	愛	9.20	9.50	9.50	9.10	9.45	9.45	56.20
4	中村和雄	東	9.00	9.45	9.40	9.30	9.45	9.55	56.15
5	田村 真	愛 3年	9.30	9.20	9.00	9.35	9.45	9.80	56.10
6	瀬尾 淳	東	9.20	9.40	9.30	9.05	9.60	9.50	56.05
7	三富洋昭	新 1年	8.90	9.30	9.25	9.30	9.70	9.60	56.05
8	下崎 博	広	9.20	9.05	9.25	9.25	9.40	9.80	55.95
9	仲田洋一	沖	9.55	9.10	9.40	9.50	8.70	9.60	55.85
10	平松光浩	北	9.45	9.45	9.10	9.40	9.25	9.10	55.75
16	八木宏克	新 27期							

[個人成績] 成年女子

			⊠	⊡	⊢	■	合計
辻本容子	岡	4年	7.70	8.15	6.85	7.10	29.80
長澤郁子	千	3年	8.60	9.10	8.75	8.50	34.95
中野久美	神	3年	8.45	8.90	7.55	8.50	33.40
田澤千晶	形	3年	キッ	7.65	5.00	キッ	12.65
増田睦美	広	2年	8.15	7.95	7.35	8.10	31.55

[団体総合] 成年女子

			⊠	⊡	⊢	■	合計
1位	京都		26.45	27.25	25.60	27.20	106.50
2位	東京		26.70	27.15	26.05	25.60	105.50
3位	神奈川		26.90	26.30	24.65	26.90	104.75
4位	千葉		26.45	26.35	25.50	26.00	104.30
5位	愛知		26.20	26.90	25.20	25.80	104.10
6位	奈良		25.90	26.85	24.35	26.30	103.40
7位	兵庫		26.10	25.35	25.35	26.10	102.90
8位	北海道		25.95	26.55	23.30	25.90	101.70

[個人総合] 成年女子

			⊠	⊡	⊢	■	合計
1位	山中陽子	東京	9.10	9.55	9.40	9.40	37.45
2位	小林実紀	京都	9.05	9.15	9.25	9.00	36.45
3位	田中関子	奈良	8.85	9.00	9.00	9.00	35.85

[団体総合] 少年男子

1位	大阪	347.90
2位	京都	333.60
3位	愛知	330.00
4位	埼玉	327.20
5位	兵庫	323.15
6位	千葉	322.10
7位	岡山	321.85
8位	群馬	319.95

[個人総合] 少年男子

1位	西川大輔	大阪	117.70
2位	池谷幸雄	大阪	116.85
3位	相原 豊	群馬	114.20
4位	佐伯崇嗣	京都	111.70
5位	林 克彦	茨城	111.20
6位	近藤 仁	愛知	111.00
7位	中塚伸次	岡山	110.65
8位	石田一典	兵庫	110.60

[団体総合] 少年女子

1位	京都	225.10
2位	埼玉	219.90
3位	東京	218.80
4位	北海道	218.50
5位	神奈川	217.10
6位	千葉	216.25
7位	大阪	215.55
8位	静岡	215.00

[個人総合] 少年女子

1位	米澤由貴子	京都	75.65
2位	七原由理子	京都	75.15
3位	上野あゆみ	埼玉	74.65
4位	高倉亜樹	東京	74.30
5位	岩沢幸恵	千葉	74.05
6位	武久直美	大阪	73.85
7位	金谷麻理子	北海道	73.80
8位	吉田美奈子	神奈川	73.70

第21回全日本社会人選主権大会

昭和63年10月29、30日

尼崎記念公園総合体育館

[団体総合] 男子1部

	■	⊗	⊘	⊙	□	合計	総計
1 大和銀行	規 46.00	43.55	44.60	46.50	45.25	45.55	271.45
	自 46.55	46.05	45.55	45.25	45.60	46.45	275.45
2 河合楽器	規 45.05	42.20	44.10	46.40	45.60	45.80	269.15
	自 45.20	45.35	46.30	45.90	46.40	47.00	276.15
3 紀陽銀行	規 44.60	40.60	43.90	45.35	40.45	45.20	260.10
	自 45.20	43.30	45.40	44.05	45.05	45.35	268.35
4 茗溪クラブ	規 40.70	38.50	38.75	43.10	32.05	34.90	228.00
	自 42.70	43.00	41.65	43.45	42.75	42.20	255.75

[個人総合] 男子1部

		■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計	総計	
1	水島宏一	規	9.15	9.00	9.15	9.25	9.30	9.45	55.30	
	(日大桜ク)	29期自	9.40	9.40	9.45	9.40	9.30	9.55	56.50	111.80
2	加藤裕之	規	8.70	9.20	9.25	9.40	9.60	8.60	54.75	
	(大和銀行)	自	9.45	9.50	9.30	9.10	9.20	8.75	55.30	110.05
3	早瀬幸博	規	9.15	8.70	8.80	9.25	9.10	8.80	53.80	
	(河合楽器)	23期自	9.30	9.35	9.50	9.40	9.15	9.45	56.15	109.95
4	金本 誠	規	8.95	8.40	8.75	9.45	9.35	9.40	54.30	
	(河合楽器)	自	8.55	9.55	9.10	9.25	9.25	9.50	55.20	109.50
5	渡辺光昭	規	9.30	8.85	8.10	9.05	9.45	9.20	53.95	
	(大和銀行)	25期自	9.25	9.35	9.05	9.25	8.85	9.75	55.50	109.45
6	寺尾直之	規	9.20	7.85	9.20	9.30	9.35	9.05	53.95	
	(河合楽器)	自	9.50	8.45	9.65	9.25	9.50	8.85	55.20	109.15
7	米井俊則	規	8.70	8.40	9.25	9.20	9.00	9.60	54.15	
	(大和銀行)	自	9.00	8.90	9.00	8.85	9.00	9.65	54.40	108.55
8	峯田孝幸	規	9.25	8.70	8.50	9.20	8.55	8.90	53.10	
	(大和銀行)	23期自	9.35	9.30	9.00	8.70	9.10	9.50	54.95	108.05
9	平松昭博	規	8.30	8.50	8.95	9.20	9.00	9.15	53.10	
	(河合楽器)	自	8.65	9.10	9.40	9.00	9.10	9.60	54.85	107.95
10	近藤重晃	規	9.70	8.40	9.20	9.25	7.90	8.95	53.40	
	(大和銀行)	自	9.25	9.00	9.20	8.90	9.45	8.70	54.50	107.90
17	石川幸一	規	9.15	8.35	8.05	9.20	8.05	8.75	51.55	
	(河合楽器)	28期自	9.30	9.00	8.30	9.15	8.75	8.80	53.30	104.85
18	山本新吾郎	規	9.10	7.40	8.40	9.15	8.75	8.90	51.70	
	(河合楽器)	29期自	9.15	8.05	8.65	9.00	9.40	8.75	53.00	104.70
37	千代恭司	規	6.65	2.75	6.15	0.00	0.85	5.40	21.80	
	(京都洛ク)	26期自	キケン	キケン	8.65	キケン	キケン	8.85	17.50	39.30

[団体総合] 男子2部

		■	⊗	⊘	⊙	⊚	□	合計
1	石山眼鏡	36.25	34.75	34.90	36.05	35.45	34.50	211.90
2	日大桜樹	35.50	32.60	33.60	35.60	34.55	35.05	206.90
3	グリーンメイト	35.15	31.80	30.65	35.10	32.55	32.20	197.45
4	山形クラブ	32.65	27.15	28.05	35.20	29.65	31.20	183.90
5	中京クラブ	32.10	23.40	31.35	33.70	28.10	27.90	176.55
6	ピープル	29.85	27.95	27.00	34.20	23.30	31.80	174.10

[個人総合] 男子2部

			■	⊗	⊘	⊙	□	□	合計	
1	川畑龍雄	日大桜樹	26期	9.00	8.55	8.80	9.15	8.90	9.00	53.40
2	大木良太	グリーンメイト		9.10	8.80	8.55	9.00	9.20	8.70	53.35
3	中田祐一	石山眼鏡		8.80	8.70	9.00	9.30	9.20	8.20	53.20
4	遠藤幸一	日大桜樹	25期	9.25	8.85	8.50	8.75	9.00	8.80	53.15
5	井上 勲	石山眼鏡		9.40	9.05	8.50	8.85	8.40	8.90	53.10
6	石川秀樹	石山眼鏡		9.05	8.80	8.80	8.95	8.80	8.60	53.00
7	新美敏也	石山眼鏡		9.00	8.20	8.60	8.95	8.60	8.80	52.15
8	田沼寛文	日体スワロー		8.90	8.40	8.55	8.80	8.45	8.55	51.65
9	殿垣哲也	日大桜樹	28期	8.60	8.60	8.30	8.50	8.60	8.85	51.45
10	浜田佳宏	因島体操		8.95	7.20	8.90	8.80	8.95	7.85	50.65
16	八木宏克	新潟体操	27期	8.35	7.90	6.30	8.90	8.90	8.20	48.55
23	佐藤善幸	山形クラブ	29期	7.80	7.25	7.50	9.10	7.45	8.25	47.35
24	渡辺英明	ピープル	23期	8.00	7.00	7.55	8.65	7.00	9.00	47.20
24	中根 均	日大桜樹	29期	8.65	6.10	8.00	8.75	7.30	8.40	47.20
30	河西 裕	日大桜樹	29期	8.30	6.60	8.00	8.95	8.05	6.35	46.25

[種目別] 男子1部



- 1位 近藤重晃
- 2位 寺尾直之
- 3位 峯田孝幸



- 1位 寺尾知之
- 2位 金本 誠
- 3位 水島宏一
- 3位 早瀬幸博

[種目別] 男子2部



- 1位 井上 勲
- 2位 大野悦司
- 3位 遠藤幸一



- 1位 中田祐一
- 2位 行本浩人
- 3位 川畑龍雄



- 1位 加藤裕之
- 2位 水島宏一
- 3位 渡辺良夫



- 1位 寺尾直之
- 2位 加藤裕之
- 3位 水島宏一
- 3位 金本 誠



- 1位 井上 勲
- 2位 遠藤幸一
- 3位 大木良太
- 3位 石川秀樹



- 1位 大木良太
- 2位 中田祐一
- 3位 赤松 隆 (能力開)



- 1位 寺尾直之
- 1位 岡部洋明
- 3位 寺尾知之



- 1位 米井俊則
- 2位 水島宏一
- 3位 渡辺光昭



- 1位 中田祐一
- 2位 浜田佳宏
- 3位 川畑龍雄



- 1位 江竜和生
- 2位 赤松 隆
- 3位 川畑龍雄
- 3位 渡辺英明

1988中日カップ国際選抜体操競技大会

昭和63年11月12、13日

愛知県体育館

〔個人総合〕 男子

		歳	■	⊗	⊘	⊙	□	合計		
1	V. リューキン	ソ連	21	9.55	9.60	9.80	9.55	9.70	9.90	58.10
2	西川大輔	日本	18	9.50	9.80	9.55	9.45	9.55	9.80	57.65
3	J. ベーレント	東ドイツ	-	9.45	9.35	9.60	9.60	9.55	9.70	57.25
4	M. ベレ	東ドイツ	19	9.35	9.70	9.40	9.30	9.75	9.70	57.20
5	池谷幸雄	日本	18	9.75	9.70	9.60	9.45	8.65	9.75	56.90
6	V. ベレンキ	ソ連	19	9.55	9.55	9.65	9.45	9.60	8.75	56.55
7	M. ゲルマン	ルーマニア	21	9.20	9.05	9.45	9.60	9.60	9.40	56.30
8	K. フリストゾフ	ブルガリア	19	9.00	9.60	9.55	9.35	9.45	9.30	56.25
9	C. シェハリエル	フランス	22	9.15	9.45	9.40	9.20	9.30	9.65	56.15
10	C. ヒバート	カナダ	22	9.00	9.05	9.50	9.70	9.55	9.10	55.90
.										
15	蒲生伸治	日本	20	9.30	8.05	9.45	9.25	9.55	9.65	55.25
18	田村 真	日本	21	8.60	9.40	9.50	9.20	9.45	8.90	55.05

〔個人総合〕 女子

		歳	⊗	⊘	⊙	■	合計	
1	D. シリハス	ルーマニア	18	9.90	9.90	9.90	9.95	39.65
2	S. ホーキンスカヤ	ソ連	15	9.90	9.90	9.90	9.90	39.60
3	S. イワノワ	ソ連	14	9.90	9.85	9.85	9.90	39.50
4	Y. クチ	ソ連	14	9.85	9.85	9.85	9.40	38.95
5	王曉燕	中国	20	9.70	9.70	9.55	9.80	38.75
6	A. トブレ	ルーマニア	16	9.65	9.85	9.40	9.75	38.65
7	E. クランタリ	アメリカ	14	9.70	9.55	9.65	9.70	38.60
7	森美恵子	日本	22	9.60	9.70	9.70	9.60	38.60
9	七原由理子	日本	16	9.60	9.50	9.55	9.65	38.30
10	A. ウィルケンロー	東ドイツ	16	9.65	9.20	9.80	9.60	38.25
.								
14	太田果良	日本	16	9.60	9.00	9.45	9.70	37.75
17	山田章子	日本	14	9.50	8.95	9.35	9.15	36.95

〔種目別〕男子

■	☒	☒	☒
1位 池谷幸雄 9.60	1位 西川大輔 9.825	1位 V.リュウキン 9.775	1位 C.ヒバート 9.600
2位 M.ベレ 9.50	2位 V.リュウキン 9.775	1位 池谷幸雄 9.775	2位 V.ベレンキ 9.587
2位 V.ベレンキ 9.50	3位 M.ベレ 9.700	3位 西川大輔 9.725	3位 V.リュウキン 9.575
2位 M.ゲルマン 9.50		3位 J.ベレント 9.725	
☒	☒		
1位 V.リュウキン 9.80	1位 V.リュウキン 9.900		
1位 西川大輔 9.80	2位 J.ハッセ 9.825		
1位 M.ベレ 9.80	3位 J.ベレント 9.800		
	3位 池谷幸雄 9.800		

〔種目別〕女子

☒	☒	☒	☒
1位 シリバス 9.950	1位 シリバス 9.975	1位 シリバス 9.95	1位 シリバス 10.00
2位 ホッキンスカヤ 9.937	2位 クチ 9.950	2位 クチ 9.90	1位 ホッキンスカヤ 10.00
3位 イワワ 9.862	3位 ホッキンスカヤ 9.925	3位 ホッキンスカヤ 9.80	1位 イワワ 10.00
		3位 ウィルケンロー 9.80	

1988東京カップ国際選抜体操競技大会

昭和63年11月17日

代々木第2体育館

〔種目別〕男子

■	☒	☒	☒
1位 池谷 9.850	1位 ベレンキ 9.875	1位 リュウキン 9.850	1位 ベレンキ 9.637
2位 ベレンキ 9.725	2位 西川 9.850	2位 フリストゾフ 9.800	2位 朴鍾助 9.600
3位 トラベラ 9.600	3位 ベレ 9.825	3位 ベレント 9.750	3位 恩田智厚 9.462
		4位 佐藤寿治 9.700	
☒	☒		
1位 リュウキン 9.850			
2位 池谷 9.775	1位 ゲルマン 9.900		
3位 ゲルマン 9.700	2位 西川 9.875		
3位 肖瑞智 9.700	3位 ハッセ 9.825		

〔種目別〕女子

☒	☒	☒	☒
1位 ホッキンスカヤ 9.950	1位 シリバス 10.00	1位 ホッキンスカヤ 9.975	1位 シリバス 10.00
2位 トブレ 9.787	2位 クチ 9.95	2位 トブレ 9.900	1位 イワワ 10.00
3位 ウィルコス 9.775	3位 ウィルコス 9.90	3位 ウィルケンロー 9.850	3位 ウィルケンロー 9.75

第42回全日本選手権大会

昭和63年12月2～4日

仙台市総合体育館

[日本大学] 男子 競技 I a b

氏名	学年		■	⊗	⊘	⊙	□	合計	総計	
知念 孝	4	規	9.10	9.20	8.95	9.15	8.90	9.35	54.65	(10)
		自	9.50	9.05	9.05	9.00	9.20	9.10	54.90	109.55
田村 真	3	規	9.20	8.80	9.60	9.30	8.10	9.35	54.35	(13)
		自	9.25	8.65	9.65	9.20	9.30	8.85	54.90	109.25
井本吉彦	3	規	8.85	8.70	9.15	7.55	9.30	9.10	52.65	(34)
		自	9.00	8.60	9.20	8.60	8.95	8.60	52.95	105.60
佐藤寿治	2	規	9.50	9.35	9.40	9.45	9.60	9.60	56.90	(1)
		自	9.50	9.35	9.70	9.20	9.50	8.40	55.65	112.55
石井宏樹	2	規	8.55	8.70	8.70	9.40	9.20	9.30	53.85	(13)
		自	9.35	9.00	9.00	9.30	9.20	9.55	55.40	109.25
松永政行	1	規	9.10	8.70	9.00	9.20	8.75	9.15	53.90	(15)
		自	9.05	9.30	9.55	8.70	9.15	9.35	55.10	109.00
ベスト5		規	45.75	44.75	46.10	46.50	45.75	46.75	275.60	
ベスト5		自	46.65	45.35	47.15	45.40	46.35	45.45	276.35	551.95
長谷川靖	4	規	9.25	8.40	8.80	8.95	7.30	8.50	51.20	(40)
		自	9.25	8.70	9.30	9.20	8.70	8.20	53.35	104.55
小林 隆	4	規	8.75	8.50	8.80	9.25	8.95	8.90	53.15	(24)
		自	9.05	8.85	9.15	8.95	9.20	9.10	54.30	107.45

[団体総合] 男子 競技 I a b

			■	⊗	⊘	⊙	□	合計	総計
1 日体大	規		46.15	45.00	44.90	46.40	45.05	45.95	273.45
	自		46.85	46.10	46.55	47.25	45.95	46.30	279.00
2 日大	規		45.75	44.75	46.10	46.50	45.75	46.75	275.60
	自		46.65	45.35	47.15	45.40	46.35	45.45	276.35
3 大和銀行	規		46.45	44.60	44.75	46.80	44.65	46.05	273.30
	自		46.55	45.55	45.60	46.20	45.95	46.80	276.65

[日本体育大学] 男子 競技 I a b

氏名	学年		■	⊗	⊘	⊙	□	合計	総計	
中村仁一	4	規	8.75	9.40	8.85	8.40	8.85	9.30	53.55	(24)
		自	8.60	9.25	8.95	9.25	9.00	8.85	53.90	107.45
蒲生伸治	3	規	9.35	9.30	9.25	9.30	9.25	9.35	55.80	(3)
		自	9.40	9.40	9.50	9.40	9.15	9.10	55.95	111.75
篠原秀幸	3	規	9.15	8.80	9.05	8.90	9.15	9.15	54.20	(6)
		自	9.65	9.10	9.20	9.70	9.00	9.35	56.00	110.20
今西 慶	3	規	8.95	8.55	9.15	9.25	9.10	8.70	53.70	(10)
		自	8.85	9.15	9.40	9.65	9.30	9.50	55.85	109.55
相原 誠	2	規	9.30	8.95	8.60	9.50	8.70	8.95	54.00	(5)
		自	9.80	9.20	9.25	9.25	9.50	9.50	56.50	110.50
佐藤幸夫	2	規	9.40	8.50	8.30	9.45	7.10	9.20	51.95	(39)
		自	9.15	8.80	9.20	8.35	8.65	8.55	52.70	104.65
ベスト5		規	46.15	45.00	44.90	46.40	45.05	45.95	273.45	
ベスト5		自	46.85	46.10	46.55	47.25	45.95	46.30	279.00	552.45
石井弘一	4	規	8.75	9.10	8.65	8.85	8.25	8.70	52.30	(31)
		自	9.25	9.10	8.95	8.95	9.25	8.90	54.40	106.70
澤田健二	3	規	9.05	7.70	7.70	9.20	8.40	7.55	49.60	(45)
		自	8.95	9.25	8.40	8.55	9.35	9.45	53.95	103.55

OB関係		競技 I a b	■	⊗	⊘	⊙	□	合計	総計	
2	水島宏一	29期 規	9.25	9.35	9.35	9.45	9.25	9.35	56.00	
		自	9.30	9.50	9.45	9.35	9.45	9.25	56.30	112.30
8	早瀬幸博	23期 規	9.05	8.80	8.95	9.20	9.30	9.15	54.45	
		自	9.30	9.00	9.15	8.90	9.50	9.35	55.20	109.65
9	峯田孝幸	23期 規	9.35	9.10	9.05	9.40	8.90	9.15	54.95	
		自	9.25	9.25	9.10	8.90	8.80	9.35	54.65	109.60
12	渡辺光昭	25期 規	9.35	9.05	8.45	9.00	9.35	9.25	54.45	
		自	9.45	8.65	8.35	9.35	9.50	9.55	54.85	109.30
21	石川幸一	28期 規	9.35	8.70	8.25	9.30	8.35	8.90	52.85	
		自	9.40	9.10	8.50	9.15	9.20	9.35	54.70	107.55
23	島田利夫	27期 規	9.15	8.95	9.20	9.30	8.30	9.00	53.90	
		自	8.60	8.80	9.25	8.90	9.00	9.05	53.60	107.50

[種目別] 男子

1位 相原誠 9.60	1位 水島 9.70	1位 田村 9.60	1位 相原豊 9.575
2位 寺尾直 9.55	2位 佐藤寿 9.65	2位 佐藤寿 9.55	2位 寺尾知 9.525
3位 篠原 9.60	3位 金本 9.45	3位 寺尾直 9.50	3位 今西 9.150
4位 佐藤寿 9.40	6位 知念 9.15	5位 松永 9.50	7位 水島 8.750
		8位 水島 8.85	

1位 加藤 9.80	1位 石井宏 9.65
2位 佐藤寿 9.50	2位 金本 9.50
3位 渡辺光 9.40	3位 寺尾知 9.40
	3位 渡辺光 9.55

[団体総合] 女子 競技 I a b

	規	自	規	自	規	自	合計	総計
1 朝日生命体操ク	47.000	47.475	45.00	46.55	46.10	46.50	185.35	372.475
2 日本体育大学	45.150	44.750	40.55	43.40	42.35	42.75	170.150	344.050
3 西山体操ク	43.800	45.000	41.20	42.15	41.90	43.85	169.950	343.450

[個人総合] 女子 競技 I a b

	規	自	規	自	規	自	合計	総計
1 小菅麻里 朝日生命体	9.80	9.750	9.40	9.60	9.40	9.70	38.40	76.850
2 信田美帆 朝日生命体	9.60	9.600	9.65	9.15	9.55	9.70	38.45	76.350
3 森村幸子 朝日生命体	9.40	9.325	8.80	9.10	9.20	9.30	36.70	73.675
4 望月のり子 日女体大	9.30	9.225	9.25	9.20	9.20	9.25	36.80	73.575
5 森美恵子 朝日生命	9.35	9.375	9.40	9.60	8.50	9.30	36.05	73.525

[種目別] 女子

1位 小菅 9.775	1位 小菅 9.70	1位 小菅 9.25	1位 信田 9.70
2位 信田 9.550	1位 森 9.70	2位 信田 9.05	2位 小菅 9.60
3位 森村 9.450	3位 三浦 9.80	2位 森村 9.30	3位 森村 9.20
		2位 三浦 9.45	

深呼吸

9回卒 今村 悟

ソウル・オリンピックで、女子陸上の松野明美選手は、10,000m予選で大健闘むなしく決勝進出をはたせなかった。彼女の力走は多くの日本人に強烈な印象を与えたことは間違いない。彼女は完全燃焼型の選手で、常に自分の力を100%出すため、ゴール後はぼったり倒れるという日本人が一番好むタイプの選手であり、しかも148cmと他の選手と比較しても小柄で、このことも感動を呼ぶ一つの要素となっている。

テレビの実況アナウンサーが、日本記録を30秒も縮めながら決勝進出を果たせなかった松野選手を称賛、しかもその後、韓国の競技役員が早く退くように松野選手に要請したことに抗議した。この事態は、競技役員として後続の選手がゴールするので当然危険であり、任務を遂行したのみである。しかし、アナウンサーにはあの光景は、あれだけ頑張ったゴールし倒れているのだから、そんなに冷たくしなくてもよいのではないかと写ったと思える。そしてその後、私は奇妙なアナウンサーの中継放送を聞きあざんとした。

イギリスの選手が倒れた松野選手を抱え起こして両手を上に挙げた。

この光景をアナウンサーは、何と松野選手の健闘を賛て「万歳」をしていると放送したのである。私はこのアナウンサーの競技知識と国際性の無さがっかりしたと同時に、日本的な発想だなあと

痛感した。

この光景は決して「万歳」をさせたのではないのである。全力を出し切り立つことのできない松野選手に、イギリス選手は両手を挙げて深呼吸させたのである。

欧米では、深呼吸をするとき、両手を挙げて肺を一杯に開き酸素を取り入れる習慣がある。このことをアナウンサーは勘違いかどうか知らないが「万歳」となったのである。欧米の深呼吸には、両手を上に挙げたり、両手を後頭部で組む方法があるが、両手を上に挙げる方法は、誰かにやってもらうときに多く使用する。両手を後頭部で組む方法は、一人で行う場合に良く使われる。これは、選手がゴール等で非常に疲れているのに、両手を上に挙げることは苦しいからである。

日本式の深呼吸はいつ、どのようにして始まったか私は知らないが、いつか調べてみたいとも思っている。

日本と欧米のスポーツ文化の違いを、スポーツ放送を通して楽しんでいる次第である。



編 集 後 記

10回卒業の先輩たちは東京オリンピックの体操を見て自ら体操の道を歩むことを決意したという。さらにミュンヘンオリンピックの月面宙返りに興奮して体操を始めた人、モントリオールオリンピックの大逆転劇に感激してその道を目指そうと決めた人も多かったに違いない。体操人口の拡大にはこうしたオリンピックの感動や興奮が非常に大きな影響を与えていると思う。

昨年行われたソウル・オリンピックの男子体操も例外ではなく、オリンピック日程前半の競技種目の中で日本国民に最高の盛り上がりを提供してくれた。しかし、その盛り上がりは今までのオリンピックとは違う思いもよらない（新人類らしい）方向へ進んでいった。

私がオリンピックの感動さめやらぬ10月の京都で開催された国民体育大会の主審を務めた時の事である。池西コンビを一目見ようと連日徹夜の

列、体育館満員で消防法の関係で入場できなかった人も出る盛況ぶり。池西コンビのご両親も大阪から見に来られたのだが、一時は入場を断わられるといった事態も発生した。

さらに、競技会が始まってからの異常なまでの興奮。本当にこれは体操競技の試合なのだろうかと自分を疑った。私は跳馬の主審だったのだが、池西コンビとも6種目のうち一番低い点数をもらったのがこの跳馬である。得点表示をした時観客席からひとこと。「あの審判なに考えてんの？池西くんには10点しか似合わないのヨ！」

昔のように純粋に「僕も池西コンビのようになりたい」と思って練習に一生懸命取り組んでいく子供たち、そしてそれを指導する先生たち、言い方は悪いがいわゆる“体操バカ”が日本の体操を盛り上げてほしいものだ。

